土 地 改 良 事 業 変 更 計 画 書 （第1回変更）

（ 区 画 整 理 ）

県　名	岩		手
地区名	真	城	北
所在地	奥	州	市
事業主体	岩	手	県

土　地　改　良　事　業　計　画　書

目　　次

第１章　目　　的 ---------- 1
第２章　地域及び地積 ---------- 2
　第１節　地域 ---------- 2
　第２節　地積 ---------- 2
第３章　現況 ---------- 3
　第１節　気象及び海象 ---------- 3
　　１．一般気象 ---------- 3
　　２．特殊気象 ---------- 4
　　３．海象 ---------- 4
　第２節　土地状況 ---------- 5
　　１．地形、土壌及び浸食の程度 ---------- 5
　　２．土地分類 ---------- 7
　　３．土地利用の状況 ---------- 8
　　４．土地所有の状況 ---------- 9
　第３節　水利状況 ---------- 10
　　１．用水状況 ---------- 10
　　２．排水状況 ---------- 16
　　３．河川状況 ---------- 20
　第４節　道路概況 ---------- 21
　　１．道路概況 ---------- 21
　　２．主要道路一覧表 ---------- 22
　第５節　地域農業の概況 ---------- 24
　　１．産業別就業人口 ---------- 24
　　２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況
　　並びに専兼業別農家数 ---------- 25
　　３．動力農機具及び主要家畜頭数 ---------- 26
　　４．主要作物作付状況 ---------- 27
　　５．農業の動向 ---------- 28
　第６節　地域環境の概況 ---------- 28
第４章　一般計画 ---------- 29
　第１節　事業計画の要旨 ---------- 29
　　１．要旨 ---------- 29
　　２．事業別面積 ---------- 29
　第２節　営農計画及び土地利用計画 ---------- 30
　　１．営農計画の概要 ---------- 30
　　２．土地利用区分 ---------- 30
　　３．作付方式 ---------- 31
　　４．生産計画 ---------- 32
　　５．労働改善計画 ---------- 33
　　６．級地別土地利用区分 ---------- 34
　　７．土地配分計画 ---------- 34
　第３節　用水計画 ---------- 35
　　１．計画基準年 ---------- 35
　　２．計画かんがい方式 ---------- 35
　　３．計画用水系統図 ---------- 35
　　４．計画用水量 ---------- 37
　　５．水源計画 ---------- 39
　第４節　排水計画 ---------- 42
　　１．計画基準雨量 ---------- 42
　　２．計画排水方式 ---------- 42
　　３．計画排水系統図 ---------- 42
　　４．計画排水量 ---------- 44
　　５．排水対策 ---------- 45
　　６．湛水検討 ---------- 46
　第５節　道路計画 ---------- 47
　　１．道路及び索道 ---------- 47
　　２．路線配置図 ---------- 47
　第６節　農用地造成計画 ---------- 49
　　１．農用地造成計画 ---------- 49
　　２．土壌改良 ---------- 49
　第７節　洪水調節計画 ---------- 50
　　１．計画基準雨量 ---------- 50
　　２．計画洪水量及び調節量 ---------- 50
　　３．貯水池 ---------- 50
　　４．洪水調節検討 ---------- 51
　　５．管理計画 ---------- 51

第８節　干拓計画 ---------- 51
第９節　農用地整備計画 ---------- 52
１．区画整理 ---------- 52
２．暗渠排水 ---------- 54
３．客土 ---------- 55
４．農地保全 ---------- 55
第１０節 老朽ため池改修計画 ---------- 56
１．洪水吐改修計画 ---------- 56
２．堤体補強計画 ---------- 56
３．取水施設改修計画 ---------- 56
第５章　主要工事計画 ---------- 57
第１節　用水施設 ---------- 57
１．貯水池 ---------- 57
２．頭首工 ---------- 58
３．揚水機 ---------- 58
４．用水路 ---------- 59
５．その他かんがい施設 ---------- 59
第２節　排水施設 ---------- 60
１．排水水門 ---------- 60
２．排水機 ---------- 60
３．排水路 ---------- 61
４．その他排水施設 ---------- 61
第３節　道路及び索道 ---------- 62
１．道路 ---------- 62
２．索道 ---------- 62
第４節　農用地造成 ---------- 63
１．農用地造成 ---------- 63
２．土壌改良 ---------- 64
第５節　洪水調節施設 ---------- 65
１．貯水池 ---------- 65
２．頭首工及び導水路 ---------- 65
第６節　干拓施設 ---------- 65
１．堤防 ---------- 65
２．潮止め ---------- 65
３．付属施設 ---------- 65
４．埋立 ---------- 65
第７節　農用地整備施設 ---------- 66
１．区画整理 ---------- 66
２．暗渠排水 ---------- 67
３．客土 ---------- 67
４．除礫 ---------- 67
５．農地保全 ---------- 68
第８節　老朽ため池改修施設 ---------- 69
１．貯水池 ---------- 69
２．堤体補強施設 ---------- 69
第６章　附帯工事計画 ---------- 70
第７章　工事の着手及び完了の予定時期 ---------- 70
第８章　環境との調和への配慮 ---------- 70
第９章　換地計画の概要 ---------- 71
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 71
第２節　換地区の設定 ---------- 71
１．換地区の名称、所在、面積 ---------- 71
２．換地区を設定する理由 ---------- 71
第３節　換地計画樹立の基本方針 ---------- 72
１．従前の土地の地積の基準 ---------- 72
２．用途別予定地積 ---------- 73
３．農用地集団化の方針 ---------- 74
４．非農用地の換地方法 ---------- 74
第４節　土地の評価及び清算の方法 ---------- 75
１．評価の方法 ---------- 75
２．清算の方法 ---------- 75
第５節　換地計画樹立の年度計画 ---------- 75
第６節　換地処分の時期に関する特則 ---------- 75
第１０章 事業費の総額及び内訳 ---------- 76
第１１章 効用 ---------- 76
第１２章 関連する事業 ---------- 77
第１３章 現況・計画図面 ---------- 78
１．位　置　図 ---------- 78
２．現況計画平面図 ---------- 78
３．土地利用計画図 ---------- 78
４．主要構造図 ---------- 78

第１章　　目　　的

上段：変更後
下段：変更前

奥州市水沢南部
本地区は、奥州市水沢区南部に位置し、胆沢扇状地の東部に拓けた岩手県を代表する穀倉地帯である。

本地区の水田整備状況は、昭和30年代の積雪寒冷地帯土地改良事業胆沢平野地区により整備されてはいるが、区画は10aと小区画であり農道も1.5m～2.0mと狭少なため、農業用機械の作業効率の低下をきたしている。また、水路は用排兼用の土水路が多く、断面が狭小で深さも浅く十分な排水機能を果たしていないため、水田の汎用化が行えない状況にある。これらのことから、効率的な農業生産を行うことが困難であり、担い手の育成及び農地集積の妨げになっている。

以上の問題を解決するため、本計画により高生産性ほ場を造成し、大型農業用機械による営農の効率化を図るとともに、担い手への農地集積を促進し、農業経営の安定を図るものである。

第２章　　地　域　及　び　地　積

上段：変更後
下段：変更前

第１節　地　　域

（第１表）

事 業 名	地　　域
〃 区　画　整　理	水沢真城、姉体町地内 岩手県　奥州市水沢区真城、姉体町地内

第２節　地　　積

（令和４年12月現在）
（平成27年8月現在）　（第２表）

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
〃 区　画　整　理	〃 奥　州　市	73.6 73.2	〃 1.0	〃 0.0	〃 0.0	8.9 8.5	83.5 82.7	その他　鉄道用地 25㎡含む その他　鉄道用地 134m2含む
	計	73.6 73.2	〃 1.0	〃 0.0	〃 0.0	8.9 8.5	83.5 82.7	
	計							
合　　計		73.6 73.2	〃 1.0	〃 0.0	〃 0.0	8.9 8.5	83.5 82.7	

第３章　　現　　況

上段：変更後
下段：変更前

第１節　気象及び海象

１．一般気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　平成31年3月版）
（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　平成26年3月版）　（第３表－１）

観測所名	〃 若柳気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H20～H29年 H15～H24年	〃 ５月 ～ ８月	〃 ９月 ～ ４月		
平均気温（℃）		20.2 19.9	〃 6.2	10.9 10.7	
降水量	平均(mm)	527.8 579.6	770.4 755.0	1,298.1 1,334.6	
	基準年(mm)	〃 —	〃 —	〃 —	
降水日数	平均(日)	43 47	94 99	137 146	
	基準年(日)	〃 —	〃 —	〃 —	
根雪期間		〃　〃　〃　〃　〃 －月 －日 ～ －月 －日 －日間			
無霜期間		〃　〃　〃　28　182 4 月 30日 ～ 10月 26 日 180 日間			
最多風向		〃 S	最大風速 (風向)	19.8 15.3 m/s 〃 (W)	最多風向発生時期　月～　月 最大風速発生年月日　2018年3月2日 2013年3月2日

※ 最大風速のデータは気象庁のホームページによる。

上段：変更後
下段：変更前

２．特殊気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　平成31年3月版）
（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　平成26年3月版）（第３表－２）

観測所名 〃 若柳気象観測所	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 M41年～H29年 M41年～H24年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量(mm) M41年～H29年 M41年～H24年	〃 280	〃 S23.9.16	1/387 1/424	〃 249	〃 T9.8.9	1/187 1/197	〃 221	〃 T2.8.27	1/93 1/95	〃 212	〃 M43.8.14	〃 1/74	〃 210	〃 T11.8.24	〃 1/70	
最大時間雨量(mm) S37年～H29年 S51年～H24年	〃 40	〃 S53.8.8	1/34 1/33	〃 38	〃 H19.9.10	1/24 1/23	〃 35	〃 H19.5.31	〃 1/14	〃 35	〃 S57.9.12	〃 1/14	〃 34	〃 H13.7.4	1/12 1/11	
最大４時間雨量 S37年～H29年 S51年～H24年	〃 84	〃 S56.8.12	1/52 1/45	〃 80	〃 H14.7.11	1/33 1/30	〃 79	〃 H14.7.11	1/30 1/27	〃 77	〃 H17.6.27	1/24 1/22	〃 75	〃 H17.6.27	1/19 1/18	
最大3日連続雨量 M41年～H29年 M41年～H24年	〃 389	〃 T9.5.9	1/503 1/469	〃 362	〃 T9.8.10	1/304 1/283	〃 334	〃 T9.5.8	1/177 1/165	〃 312	〃 T9.8.9	1/114 1/106	〃 305	〃 M43.8.15	1/99 1/92	
最大連続旱天日数 M41年～H29年 M41年～H24年	〃 52	〃 S21.7.11	〃 －	〃 47	〃 H6.7.3	〃 －	〃 35	〃 S53.7.4	1/230 1/198	〃 35	〃 S18.6.19	1/230 1/198	〃 33	〃 S24.7.16	1/101 1/90	

３．海　　象

〃
該当なし

（第３表－３）

観測所名 観測期間	年～年	既往最高潮位（m）	さく望平均満潮位（m）	上下弦平均満潮位（m）	平均潮位（m）	上下弦平均干潮位（m）	さく望平均満潮位（m）	既往最低潮位（m）	備考
実測値		（　　）							

上段：変更後
下段：変更前

第２節　土地状況

１．地形、土壌及び浸食の程度

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15° 8° ～10°	8° ～15° 10° ～15°	8° ～15° 8° ～15°	15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低	
区画整理	面積(ha)	〃 －	73.6 73.2	〃 －	〃 －	〃 －	73.6 73.2	〃 1.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 1.0	〃 44	〃 37	
	比率(%)	〃 －	〃 100.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 100.0	〃 100.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 100.0			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)	〃 －	73.6 73.2	〃 －	〃 －	〃 －	73.6 73.2	〃 1.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 1.0			
	比率(%)	〃 －	〃 100.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 100.0	〃 100.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 100.0			

上段：変更後
下段：変更前

〔水田土壌〕

（第４表－１－２）

項目 / 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表										面積（ha）			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			区画整理		計	
〃 黄褐色土壌 壌土マンガン型	〃 10YR3/2 10YR3/1	〃 すこぶる含む 含む	〃 なし	〃 あり	〃 LiC	〃 HC	〃 HC	〃 なし なし なし	〃 水積	〃 非固結堆積岩	〃 23.0		〃 23.0	〃 飯豊統 Ⅰ-83
〃 灰褐色土壌 強粘土構造型	〃 10YR5/4 10YR4/2	〃 含む 含む	〃 なし	〃 あり	〃 LiC	〃 LiC	〃 LiC	〃 なし なし	〃 水積	〃 非固結堆積岩	〃 25.3		〃 25.3	〃 高舘統 G-60
〃 グライ土壌 強粘土構造型	〃 10YR3/2 5GY2/1	〃 含む 含む	〃 なし	〃 なし	〃 HC	〃 HC	〃 LiC	〃 なし あり	〃 水積	〃 非固結堆積岩	25.3 24.9		25.3 24.9	〃 衣坂統 E-40
計											73.6 73.2		73.6 73.2	

〃
該当なし

（第４表－１－３）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程度		備考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

上段：変更後
下段：変更前

２．　土地分類

〃
該当なし

（第４表-2-1）

級地別 市町村名	農用地造成										計	備考
		二級地				三級地				四級地		
	一級地 (ha)	※ (ha)	3°～8° (ha)	8°～12° (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	30°以上 (ha)	(ha)	
計												

〃
該当なし

（第４表-2-2）

級地別 市町村名	干拓					備考
	一級地（ha）	二級地（ha）	三級地（ha）	四級地（ha）	計（ha）	
計						

上段：変更後
下段：変更前

３．土地利用の状況

（令和４年12月現在）
（平成27年8月現在）（第４表－３）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	〃 奥州市	73.6 73.2	〃 1.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	0.0 －	〃 －	〃 －	〃 0.0	8.9 8.5	83.5 82.7	
合計		73.6 73.2	〃 1.0	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	0.0 －	〃 －	〃 －	〃 0.0	8.9 8.5	83.5 82.7	

上段：変更後
下段：変更前

４．土地所有の状況

（令和４年12月現在）
（平成27年11月現在）　（第４表－４）

事業名	所有別 区　分	個人有	市有	改良区	その他			計	備　　考
区画整理	面　　積(ha)	74.9 74.4	4.1 4.2	4.5 4.1	〃 －			83.5 82.7	
	受益者数(人)	116 121			〃 －			116 121	
	筆　　数(筆)	1,101 1,516			〃 －			1,101 1,516	
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)	(121) (121)						(121) (121)	
	面　　積(ha)								
	受益者数(人)								
	筆　　数(筆)								
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)								
合計	面　　積(ha)	74.9 74.4	4.1 4.2	4.5 4.1	〃 －			83.5 82.7	
	受益者数(人)	116 121			〃 －			116 121	
	筆　　数(筆)	1,101 1,516			〃 －			1,101 1,516	
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)	(121) (121)						(121) (121)	

第３節　水利状況

上段：変更後
下段：変更前

１．用水状況

本地区の幹線用水路は、胆沢ダムを水源とする一級河川胆沢川より〃若柳頭首工にて取水し、円筒分水工の下流にある国営胆沢平野農業水利事業及び県営農業用水再編対策事業胆沢平野地区で整備された茂井羅南堰系統の茂井羅南堰用水路及び鶴巻用水路、寿安下堰系統の寿安下堰及び堤尻水路である。

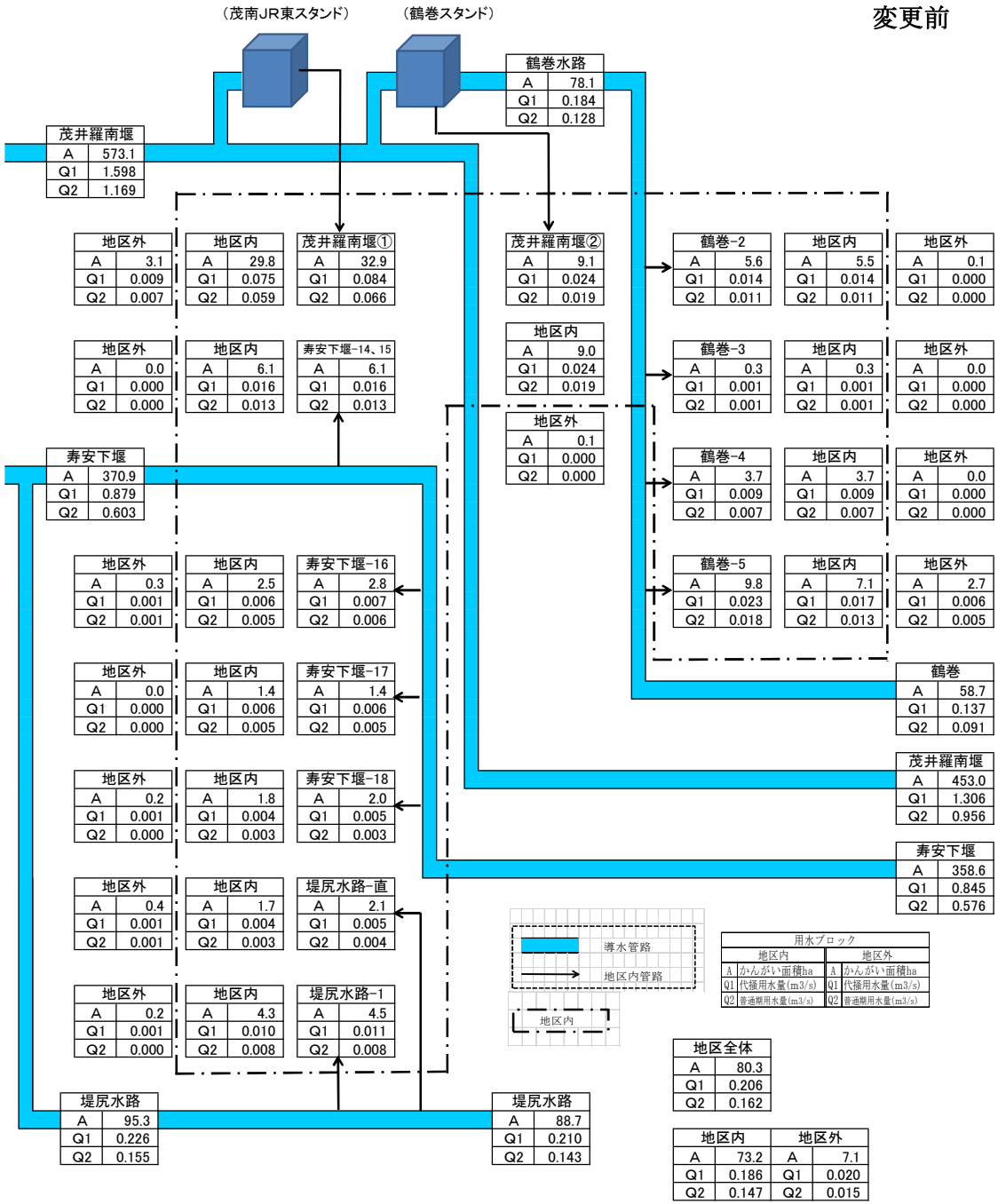
地区内の小用水路は、土水路で断面も一定ではなく、用排兼用となっている。そのため、土壌浸透による用水の損失や、法面の崩落等による通水障害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

（１）　用水系統

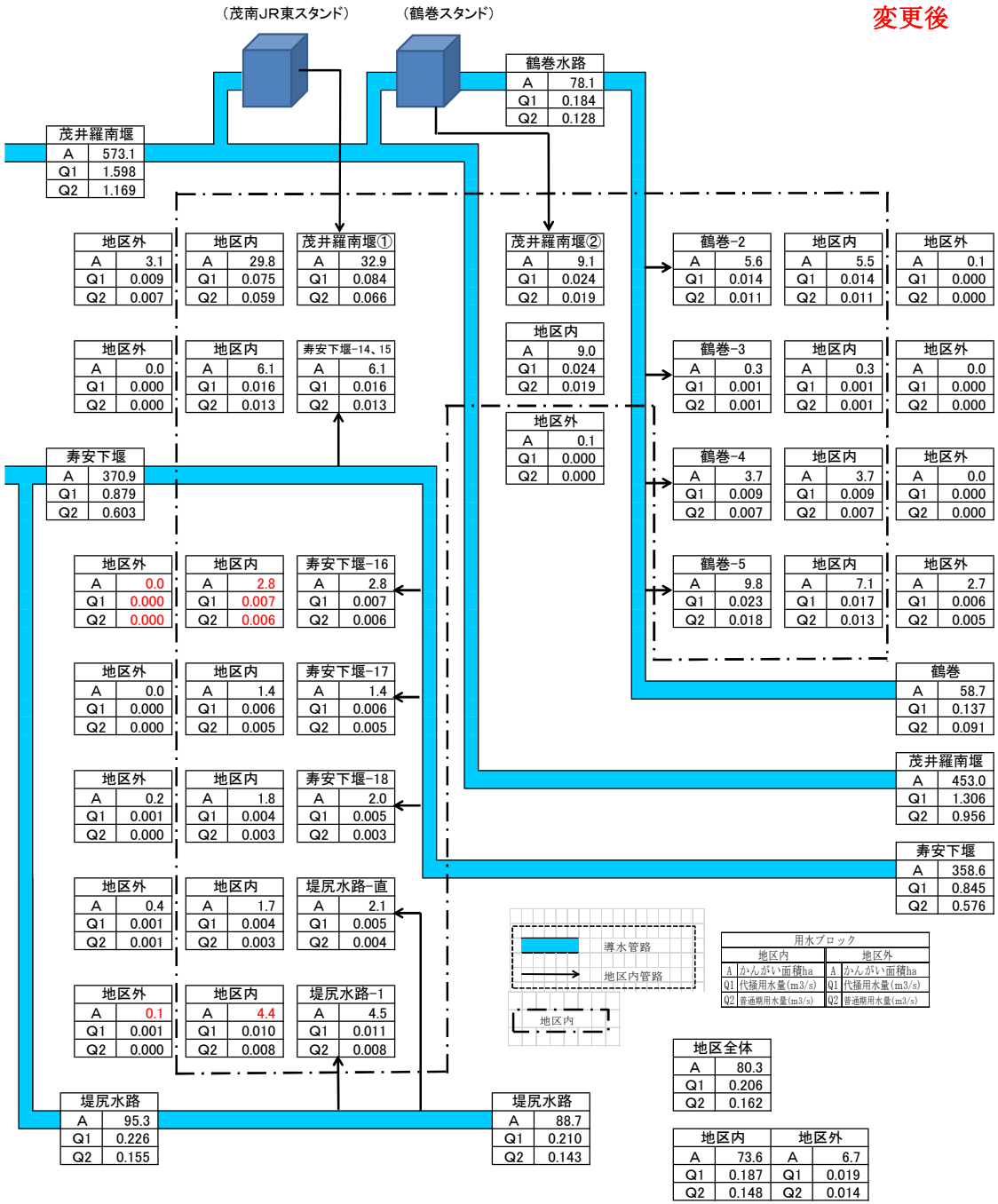
〃
次頁参照

現況用水系統模式図

変更前



現況用水系統模式図


変更後
（茂南JR東スタンド）
（鶴巻スタンド）
鶴巻水路 A 78.1 Q1 0.184 Q2 0.128
茂井羅南堰 A 573.1 Q1 1.598 Q2 1.169
地区外 A 3.1 Q1 0.009 Q2 0.007
地区内 A 29.8 Q1 0.075 Q2 0.059
茂井羅南堰① A 32.9 Q1 0.084 Q2 0.066
茂井羅南堰② A 9.1 Q1 0.024 Q2 0.019
鶴巻-2 A 5.6 Q1 0.014 Q2 0.011
地区内 A 5.5 Q1 0.014 Q2 0.011
地区外 A 0.1 Q1 0.000 Q2 0.000
地区外 A 0.0 Q1 0.000 Q2 0.000
地区内 A 6.1 Q1 0.016 Q2 0.013
寿安下堰-14、15 A 6.1 Q1 0.016 Q2 0.013
地区内 A 9.0 Q1 0.024 Q2 0.019
鶴巻-3 A 0.3 Q1 0.001 Q2 0.001
地区内 A 0.3 Q1 0.001 Q2 0.001
地区外 A 0.0 Q1 0.000 Q2 0.000
地区外 A 0.1 Q1 0.000 Q2 0.000
寿安下堰 A 370.9 Q1 0.879 Q2 0.603
鶴巻-4 A 3.7 Q1 0.009 Q2 0.007
地区内 A 3.7 Q1 0.009 Q2 0.007
地区外 A 0.0 Q1 0.000 Q2 0.000
地区外 A 0.0 Q1 0.000 Q2 0.000
地区内 A 2.8 Q1 0.007 Q2 0.006
寿安下堰-16 A 2.8 Q1 0.007 Q2 0.006
鶴巻-5 A 9.8 Q1 0.023 Q2 0.018
地区内 A 7.1 Q1 0.017 Q2 0.013
地区外 A 2.7 Q1 0.006 Q2 0.005
地区外 A 0.0 Q1 0.000 Q2 0.000
地区内 A 1.4 Q1 0.006 Q2 0.005
寿安下堰-17 A 1.4 Q1 0.006 Q2 0.005
鶴巻 A 58.7 Q1 0.137 Q2 0.091
地区外 A 0.2 Q1 0.001 Q2 0.000
地区内 A 1.8 Q1 0.004 Q2 0.003
寿安下堰-18 A 2.0 Q1 0.005 Q2 0.003
茂井羅南堰 A 453.0 Q1 1.306 Q2 0.956
地区外 A 0.4 Q1 0.001 Q2 0.001
地区内 A 1.7 Q1 0.004 Q2 0.003
堤尻水路-直 A 2.1 Q1 0.005 Q2 0.004
寿安下堰 A 358.6 Q1 0.845 Q2 0.576
地区外 A 0.1 Q1 0.001 Q2 0.000
地区内 A 4.4 Q1 0.010 Q2 0.008
堤尻水路-1 A 4.5 Q1 0.011 Q2 0.008
導水管路
地区内管路
地区内
用水ブロック
地区内 A かんがい面積ha Q1 代掻用水量(m3/s) Q2 普通期用水量(m3/s)
地区外 A かんがい面積ha Q1 代掻用水量(m3/s) Q2 普通期用水量(m3/s)
地区全体 A 80.3 Q1 0.206 Q2 0.162
堤尻水路 A 95.3 Q1 0.226 Q2 0.155
堤尻水路 A 88.7 Q1 0.210 Q2 0.143
地区内 A 73.6 Q1 0.187 Q2 0.148
地区外 A 6.7 Q1 0.019 Q2 0.014

（２）　用水施設

上段：変更後

（ア）　取水方法一覧表

下段：変更前

（第５表－１）

事業名	項目 施設名	かんがい面積 500ha以上 箇所	かんがい面積 500ha以上 ha	かんがい面積 500～100ha 箇所	かんがい面積 500～100ha ha	かんがい面積 100ha未満 箇所	かんがい面積 100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	水利権 箇所	水利権 m^3/s	慣行水利権 箇所	慣行水利権 m^3/s	延取水量 m^3/s	備考
区画整理	貯水池	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	上段：代掻き 下段：普通期
	井堰	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
	自然取水口	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 12	73.6 73.2	〃 12	73.6 73.2	〃 1	0.187 0.148 0.186 0.147	〃 －	〃 －	0.187 0.148 0.186 0.147	水利権 H25.2月
	揚水機	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
	その他	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
	計	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 12	73.6 73.2	〃 12	73.6 73.2	〃 1	0.187 0.148 0.186 0.147	〃 －	〃 －	0.187 0.148 0.186 0.147	
合計		〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 12	73.6 73.2	〃 12	73.6 73.2	〃 1	0.187 0.148 0.186 0.147	〃 －	〃 －	0.187 0.148 0.186 0.147	

上段：変更後
下段：変更前

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路	〃 4	73.6 73.2	〃 土水路	〃 L=16,243m	〃 S30年～35年	〃 機能低下･断面不足	
	その他							
	計		73.6 73.2		〃 L=16,243m			
合計			73.6 73.2		〃 L=16,243m			

（３）　用水に関する被害状況

上段：変更後
下段：変更前

（ア）　用水不足による被害状況　　〃該当なし

（第５表-3-1）

事業名	項目／系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量 かんがい期最大不足水量 平均(m³/s)	不足水量 かんがい期最大不足水量 基準年(m³/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 平均(m³/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 基準年(m³/s)	平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
	計									
合計										

（イ）その他の被害状況　　〃該当なし

（第５表-3-2）

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃) 最高	水温(℃) 最低	被害量 (t)	備考

（4）　ため池決壊の場合の想定被害状

〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

（第５表-3-3）

事　業　名	想定被害面積(ha)				想定被害額（千円）						人命（人）	備　考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
計												
合　計												

上段：変更後
下段：変更前

２．排水状況

〃

本地区の排水は地区内の小排水路を流下し、茂井羅南堰排水路、沢田水路、鶴巻水路、堤尻水路へ排水される。

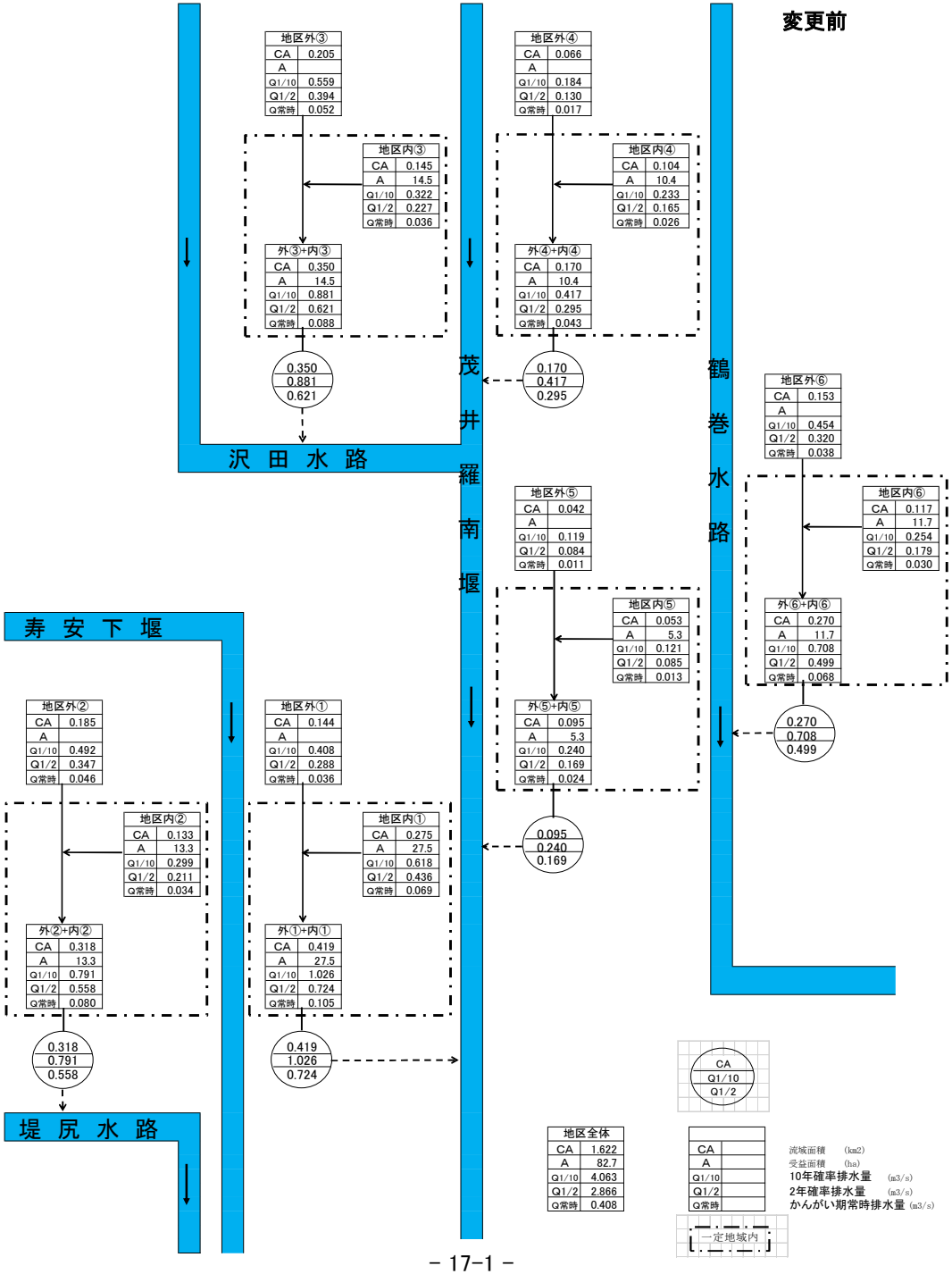
地区内の小排水路は、水路底が浅く地表排水のみが排水可能であるため、水田の汎用化が行えない状況である。また、土水路で断面も一定ではなく、法面の崩落等による通水阻害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

(1) 排水系統

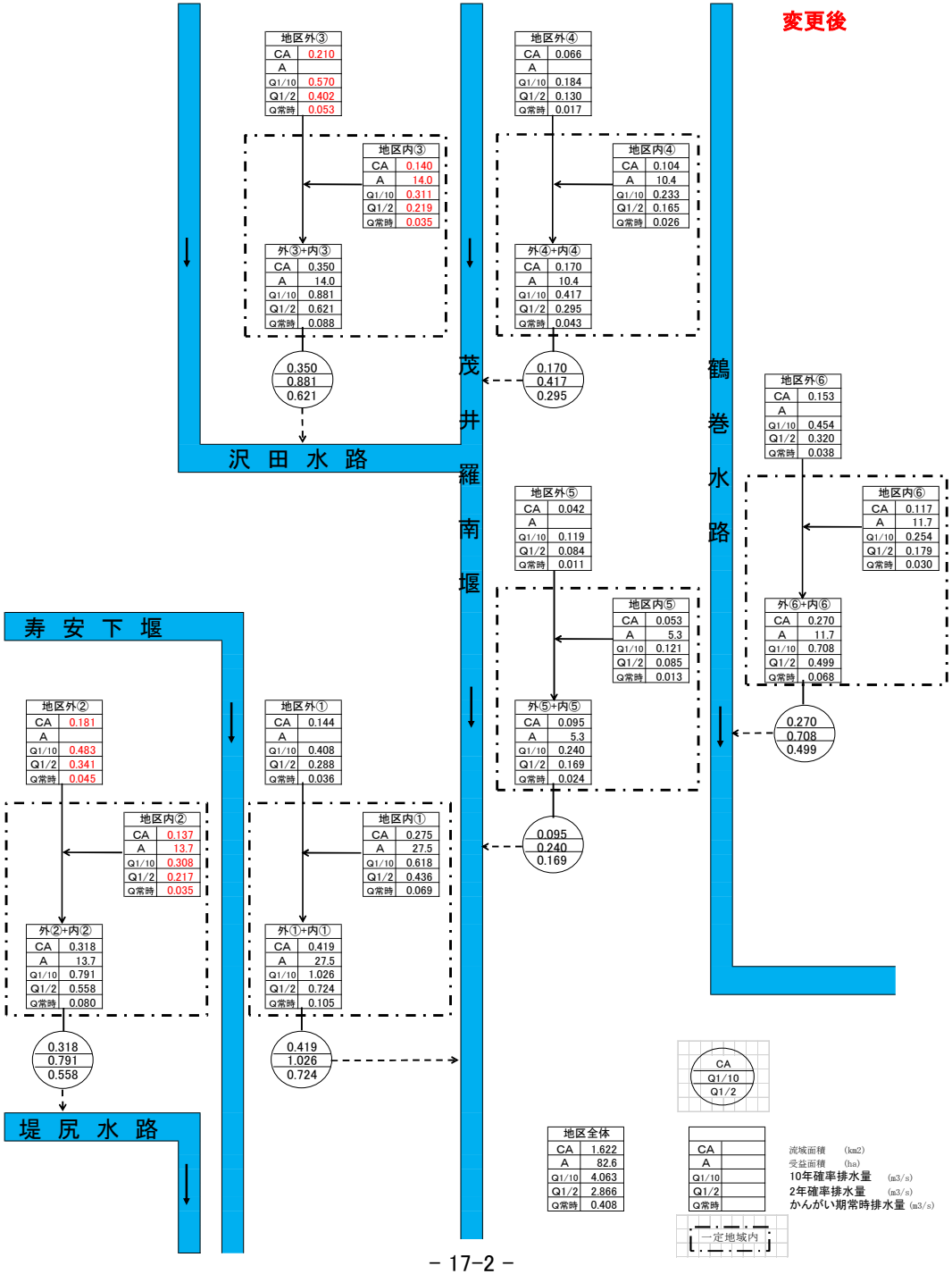
〃

次頁参照

現 況 排 水 系 統 模 式 図


変更前
沢 田 水 路
茂 井 羅 南 堰
鶴 巻 水 路
寿 安 下 堰
堤 尻 水 路
地区外③
CA 0.205
A
Q1/10 0.559
Q1/2 0.394
Q常時 0.052
地区内③
CA 0.145
A 14.5
Q1/10 0.322
Q1/2 0.227
Q常時 0.036
外③+内③
CA 0.350
A 14.5
Q1/10 0.881
Q1/2 0.621
Q常時 0.088
0.350
0.881
0.621
地区外④
CA 0.066
A
Q1/10 0.184
Q1/2 0.130
Q常時 0.017
地区内④
CA 0.104
A 10.4
Q1/10 0.233
Q1/2 0.165
Q常時 0.026
外④+内④
CA 0.170
A 10.4
Q1/10 0.417
Q1/2 0.295
Q常時 0.043
0.170
0.417
0.295
地区外⑤
CA 0.042
A
Q1/10 0.119
Q1/2 0.084
Q常時 0.011
地区内⑤
CA 0.053
A 5.3
Q1/10 0.121
Q1/2 0.085
Q常時 0.013
外⑤+内⑤
CA 0.095
A 5.3
Q1/10 0.240
Q1/2 0.169
Q常時 0.024
0.095
0.240
0.169
地区外⑥
CA 0.153
A
Q1/10 0.454
Q1/2 0.320
Q常時 0.038
地区内⑥
CA 0.117
A 11.7
Q1/10 0.254
Q1/2 0.179
Q常時 0.030
外⑥+内⑥
CA 0.270
A 11.7
Q1/10 0.708
Q1/2 0.499
Q常時 0.068
0.270
0.708
0.499
地区外②
CA 0.185
A
Q1/10 0.492
Q1/2 0.347
Q常時 0.046
地区内②
CA 0.133
A 13.3
Q1/10 0.299
Q1/2 0.211
Q常時 0.034
外②+内②
CA 0.318
A 13.3
Q1/10 0.791
Q1/2 0.558
Q常時 0.080
0.318
0.791
0.558
地区外①
CA 0.144
A
Q1/10 0.408
Q1/2 0.288
Q常時 0.036
地区内①
CA 0.275
A 27.5
Q1/10 0.618
Q1/2 0.436
Q常時 0.069
外①+内①
CA 0.419
A 27.5
Q1/10 1.026
Q1/2 0.724
Q常時 0.105
0.419
1.026
0.724
CA
Q1/10
Q1/2
地区全体
CA 1.622
A 82.7
Q1/10 4.063
Q1/2 2.866
Q常時 0.408
CA
A
Q1/10
Q1/2
Q常時
流域面積 (km2)
受益面積 (ha)
10年確率排水量 (m3/s)
2年確率排水量 (m3/s)
かんがい期常時排水量 (m3/s)
一定地域内

現 況 排 水 系 統 模 式 図


変更後
沢 田 水 路
茂 井 羅 南 堰
鶴 巻 水 路
寿 安 下 堰
堤 尻 水 路
地区外③ CA 0.210 A Q1/10 0.570 Q1/2 0.402 Q常時 0.053
地区内③ CA 0.140 A 14.0 Q1/10 0.311 Q1/2 0.219 Q常時 0.035
外③+内③ CA 0.350 A 14.0 Q1/10 0.881 Q1/2 0.621 Q常時 0.088
0.350 0.881 0.621
地区外④ CA 0.066 A Q1/10 0.184 Q1/2 0.130 Q常時 0.017
地区内④ CA 0.104 A 10.4 Q1/10 0.233 Q1/2 0.165 Q常時 0.026
外④+内④ CA 0.170 A 10.4 Q1/10 0.417 Q1/2 0.295 Q常時 0.043
0.170 0.417 0.295
地区外⑤ CA 0.042 A Q1/10 0.119 Q1/2 0.084 Q常時 0.011
地区内⑤ CA 0.053 A 5.3 Q1/10 0.121 Q1/2 0.085 Q常時 0.013
外⑤+内⑤ CA 0.095 A 5.3 Q1/10 0.240 Q1/2 0.169 Q常時 0.024
0.095 0.240 0.169
地区外⑥ CA 0.153 A Q1/10 0.454 Q1/2 0.320 Q常時 0.038
地区内⑥ CA 0.117 A 11.7 Q1/10 0.254 Q1/2 0.179 Q常時 0.030
外⑥+内⑥ CA 0.270 A 11.7 Q1/10 0.708 Q1/2 0.499 Q常時 0.068
0.270 0.708 0.499
地区外② CA 0.181 A Q1/10 0.483 Q1/2 0.341 Q常時 0.045
地区内② CA 0.137 A 13.7 Q1/10 0.308 Q1/2 0.217 Q常時 0.035
外②+内② CA 0.318 A 13.7 Q1/10 0.791 Q1/2 0.558 Q常時 0.080
0.318 0.791 0.558
地区外① CA 0.144 A Q1/10 0.408 Q1/2 0.288 Q常時 0.036
地区内① CA 0.275 A 27.5 Q1/10 0.618 Q1/2 0.436 Q常時 0.069
外①+内① CA 0.419 A 27.5 Q1/10 1.026 Q1/2 0.724 Q常時 0.105
0.419 1.026 0.724
CA Q1/10 Q1/2
地区全体 CA 1.622 A 82.6 Q1/10 4.063 Q1/2 2.866 Q常時 0.408
CA A Q1/10 Q1/2 Q常時
流域面積 (km2)
受益面積 (ha)
10年確率排水量 (m3/s)
2年確率排水量 (m3/s)
かんがい期常時排水量 (m3/s)
一定地域内

(2) 排水施設

上段：変更後
下段：変更前

（ア）排水方法一覧表

（第５表-4）

事業名	施設名 ＼ 項目		排水面積 500ha以上 箇所	排水面積 500ha以上 ha	排水面積 500～100ha 箇所	排水面積 500～100ha ha	排水面積 100ha未満 箇所	排水面積 100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備考
区画整理	自然	排水路					〃 6	〃 162.2	〃 6	〃 162.2	〃 4.06		
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						〃 6	〃 162.2	〃 6	〃 162.2	〃 4.06		
合計							〃 6	〃 162.2	〃 6	〃 162.2	〃 4.06		

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表-5）

事業名	施設名 ＼ 項目		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	自然	排水路	― ―	74.6 74.2	〃 土水路	〃 (L=16,243m)	〃 S30年～35年	〃 機能低下･断面不足	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		― ―	74.6 74.2		〃 L=16,243m			
合計			― ―	74.6 74.2		〃 L=16,243m			

上段：変更後
下段：変更前

（３）　排水に関する被害状況

〃
該当なし

（第５表-6）

事　業　名	項　目 ＼ 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛　水　状　況				乾湿状況（ha）						平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備　考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他				
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
	計		平　均														
			基準年														
合　　計			平　均														

３．河 川 状 況

上段：変更後
下段：変更前

（１）　河川の現況

〃
該当なし

（第５表-7）

項目 河川名	流路状況	勾　　配	断　　面	安全洪水量 (m³/s)	既往最大洪水量 (m³/s)	備　　考

（２）洪水に関する被害状況

〃
該当なし

（第５表-8）

項目 区分	農　用　地 （千円）	農　用　施　設 （千円）	作　　物 （千円）	公　共　施　設 （千円）	備　　考
過去の最大被害額					
平均被害額					

上段：変更後
下段：変更前

第４節　道路概況

１．道路概況

〃

ほ場内の耕作道は、砂利道及び舗装であるが、幅員がB=1.5m～2.0m未満と狭く、農作業機械の通行に支障をきたしている状況である。本地区の基幹道路は、その他市道柿ノ木下南塩加羅線(2車線・AS舗装)が地区西側を、1級市道瀬台野高根線(2車線・AS舗装)が地区東側を南北に縦断し、1級市道秋成本線(2車線・AS舗装)が地区中央を東西に横断している。

２．主要道路一覧表

上段：変更後
下段：変更前
（第６表）

市道

NO.	路　線　名	管理区分別	延　長（m）	幅　員（m） 全　幅	幅　員（m） 有　効	構　造	改修の要否	備　考
	〃	〃		〃	〃	〃	〃	
1	秋成本線	市		9.0	9.0	ｱｽﾌｧﾙﾄ	否	
	〃	〃		〃	〃	〃	〃	
2	瀬台野高根線	〃		6.6	6.3	ｱｽﾌｧﾙﾄ	否	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
3	幅下町南線	〃	469	3.1	2.7	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
4	南塩加羅堂林前線	〃	487	2.3	2.3	砂利	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
5	台町南塩加羅線	〃	107	1.9	1.9	砂利	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
6	南塩加羅東鶴巻線	〃	306	1.5	1.5	砂利	要	
	〃	〃		〃	〃	〃	〃	
7	柿ノ木下南塩加羅線	〃		9.0	9.0	ｱｽﾌｧﾙﾄ	否	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
8	幅下1号線	〃	726	3.4	2.6	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
9	谷地堰1号線	〃	123	2.9	2.1	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
10	谷地堰迎畑線	〃		4.0	3.5	ｱｽﾌｧﾙﾄ	否	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
11	堂林前谷地中線	〃	294	2.3	1.8	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
12	谷地堰谷地中線	〃	254	2.0	2.0	砂利	要	
	〃	〃		〃	〃	〃	〃	
13	南塩加羅北下田線	〃		5.4	4.7	ｱｽﾌｧﾙﾄ	否	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
14	堂林前迎畑線	〃	182	2.4	2.0	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	

上段：変更後
下段：変更前
（第６表）

市道

NO.	路　線　名	管理区分別	延　長（m）	幅　員（m） 全　幅	幅　員（m） 有　効	構　造	改修の要否	備　考
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
15	西鶴巻宮田線	市	260	2.7	2.1	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
16	西鶴巻宮田線	〃	263	1.9	1.6	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
17	志田見沢柿ノ木下線	〃	579	2.7	2.1	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃		〃	〃	〃	〃	
18	杉ノ下柿ノ木下1号線	〃		6.5	6.5	ｱｽﾌｧﾙﾄ	否	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
19	杉ノ下2号線	〃	131	2.8	2.8	砂利	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
20	田中前北下田線	〃	284	3.4	2.3	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
21	北下田柿ノ木下線	〃	333	4.2	3.6	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
22	谷地中北下田線	〃	351	4.1	3.5	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
23	要害前北下田線	〃	410	3.3	2.8	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
24	北下田1号線	〃	271	3.1	2.7	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
25	マイアネタウン40号線	〃	118	3.0	2.8	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
26	マイアネタウン40号線	〃	19	2.1	1.7	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
27	原ノ西北余目線	〃	241	2.1	1.8	ｱｽﾌｧﾙﾄ	要	
	〃	〃		〃	〃	〃	〃	
28	垣ノ内林前線	〃		6.7	5.8	ｱｽﾌｧﾙﾄ	否	

真城北地区現況道路調査図

S=1:2500

変更なし

図面の名称	図面番号
平成26年度 農業農村整備事業調査 真城北地区 現況道路調査図	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図 原図	
図 複写	

上段：変更後
下段：変更前

第５節　地域農業の概況

１．産業別就業人口

令和２年国勢調査
平成26年度版岩手県統計年鑑　（第７表-1）

項目 市町村名	総数 （人）	農業 （人）	林業 （人）	漁業 （人）	鉱業 （人）	建設業 （人）	製造業 （人）	電気ガス熱供給水道業 （人）	運輸通信業 （人）	卸売小売業飲食店 （人）	金融保険業 （人）	不動産業 （人）	サービス業 （人）	公務 （人）	その他 （人）	備考
〃	60,273	7,328	152	4	12	4,979	11,969	229	2,817	7,577	851	597	9,602	1,663	12,493	
奥州市	61,670	9,615	162	3	21	5,188	11,414	275	2,889	8,663	1,048	529	10,045	1,839	9,979	
計	60,273	7,328	152	4	12	4,979	11,969	229	2,817	7,577	851	597	9,602	1,663	12,493	
	61,670	9,615	162	3	21	5,188	11,414	275	2,889	8,663	1,048	529	10,045	1,839	9,979	
比率（%）	〃	12.2%	0.2%	〃	〃	8.3%	19.8%	〃	〃	12.6%	1.4%	1.0%	15.9%	2.8%	20.7%	
	100%	15.6%	0.3%	0.0%	0.0%	8.4%	18.5%	0.4%	4.7%	14.0%	1.7%	0.9%	16.3%	3.0%	16.2%	

上段：変更後
下段：変更前

２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(2020農林業センサス)
(2010農林業センサス)　　（第７表-2）

区分 / 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸) 例外規定の適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0 ha以上	自給的農家	一戸当たり平均農用地面積 (ha) 田	畑	樹園地	小計	草地	計	耕地の分散状況 一戸当たり団地数	団地当たり面積 (ha)	専兼業別農家数 (戸) 専業	兼業 第一種	兼業 第二種	備考
〃 奥州市	8,121 11,582	－ 57	－ 1,159	－ 2,755	－ 1,974	－ 1,246	－ 1,243	－ 638	－ 296	－ 80	2,109 2,134	1.64 1.4	0.18 0.1	0.03 0.0	1.85 1.5	0.08 0.1	1.93 1.6			－ 1,861	－ 1,377	－ 6,210	
計	8,121 11,582	－ 57	－ 1,159	－ 2,755	－ 1,974	－ 1,246	－ 1,243	－ 638	－ 296	－ 80	2,109 2,134	1.64 1.4	0.18 0.1	0.03 0.0	1.85 1.5	0.08 0.1	1.93 1.6			－ 1,861	－ 1,377	－ 6,210	
比率	〃 100%	－ 0.5%	－ 10.0%	－ 23.8%	－ 17.0%	－ 10.8%	－ 10.8%	－ 5.5%	－ 2.6%	－ 0.6%	26.0% 18.4%	85.0% 87.5%	9.3% 6.3%	1.6% 0.0%	95.9% 93.8%	4.1% 6.3%	〃 100.0%	－ －	－ －	－ 19.7%	－ 14.6%	－ 65.7%	

上段：変更後
下段：変更前

３．動力農機具及び主要家畜頭数

（2020農林業センサス）
（2010農林業センサス）　　（第７表-3）

項目 / 市町村名	動力農機具						主要家畜						備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	
〃	－	－	－	－	－	－	735	25	15,854	683	－	4	
奥州市	9,052	7,762	6,629	6,498	3,283	3,214	1,679	74	16,566	1,349	2,198	6	
計	－	－	－	－	－	－	735	25	15,854	683	－	4	
	9,052	7,762	6,629	6,498	3,283	3,214	1,679	74	16,566	1,349	2,198	6	
100戸当たり数量（台、頭）	－		－		－		9		195		－		
	78		57		28		14		143		19		
利用戸数割合（%）		－		－		－		0.3%		8.4%		0.0%	農家総戸数 8,121戸
		67.0%		56.1%		27.7%		0.6%		11.6%		0.1%	11,582戸

上段：変更後
下段：変更前
（第７表-4）

４．主要作物作付状況

市町村名			奥州市				計	平均	作付率	備考
総耕地面積(ha)			19,800 19,900				19,800 19,900			
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	表作	〃 水稲	10,300 10,900	558 565			10,300 10,900	558 565	79.6 80.2	R2農林水産省作物統計より H26農林水産統計より
田	表作									
田	小計		10,300 10,900				10,300 10,900		79.6 80.2	
普通畑	春夏作	〃 小麦	107 187	162 132			107 187	162 132	0.8 1.4	R2農林水産省作物統計より H26農林水産統計より
普通畑	春夏作	〃 大豆	1,400 1,050	141 175			1,400 1,050	141 175	10.8 7.7	R2農林水産省作物統計より H26農林水産統計より
普通畑	春夏作	〃 野菜類	200 246				200 246	〃 －	1.5 1.8	2020農林業センサスより 2010農林業センサスより
普通畑	春夏作	〃 牧草	－ 760				－ 760	〃 －	－ 5.6	2020農林業センサスより 2010農林業センサスより
普通畑	春夏作	〃 その他	597 117				597 117	〃 －	4.6 0.9	2020農林業センサスより 2010農林業センサスより
普通畑	春夏作	〃 花き類・花木	71 65				71 65	〃 －	0.5 0.5	2020農林業センサスより 2010農林業センサスより
普通畑	春夏作									
普通畑	小計		2,375 2,425				2,375 2,425		18.4 17.9	
樹園地		〃 果樹類	265 263				265 263	〃 －	2.0 1.9	2020農林業センサスより 2010農林業センサスより
樹園地	小計		265 263				265 263		2.0 1.9	
計			12,940 13,588				12,940 13,588		〃 100.0	
市町村別延べ作付率(%)			65.4 68.3				65.4 68.3			

上段：変更後
下段：変更前

５．農業の動向

（第７表-5）

項目 / 区分	農家			土地			主要作物			主要家畜			動力農機具			その他	地域指定等	備考
		B (H27) (H17)	A (R2) (H22)		B (H27) (H17)	A (R2) (H22)	作物名	B (H27) (H17)	A (R2) (H22)	家畜名	B (H27) (H17)	A (R2) (H22)	農機具名	B (H27) (H17)	A (R2) (H22)			
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家	87 93	70 84	耕地	87 93	78 86	水稲	100 96	100 87	乳用牛	47 106	33 112	耕耘機 ﾄﾗｸﾀｰ	88 98	－ 86		農振 〃 S45.3.31 広域団地 〃 S52 野菜 〃 H6.5.30 酪農 〃 H9.1	A：令和２年(2020) A:平成22年(2010) B：平成27年(2015) B:平成17年(2005) C：平成22年(2010) C:平成12年(2000)
	専業農家数	99 121	－ 143	田	88 95	87 86	大豆	97 171	124 234	肉用牛	69 70	50 55	動力田植機	83 92	－ 76			
	第一種兼業農家	58 90	－ 77	畑	75 80	80 66	麦類	116 132	76 88	豚	37 43	50 18	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	96 115	－ 93			
	第二種兼業農家	82 86	－ 69	樹園地	96 97	105 97	野菜	77 106	78 99	採卵鶏	71 120	50 120						
	農業従事者	75 80	54 68	草地	81 79	85 118												
変化の理由	総農家数、農業従事者は減少している。 総農家数、農業従事者は減少しているものの、農地集積や担い手対策の推進、認定農業者や法人組織育成の取組みが行われており、専業農家が増加している。			〃 農地転用が進み農用地の減少が進んでいる。			水稲は、耕地面積が横ばいである。また、転作農地の有効利用は大豆が増加している。 〃 水稲は、耕地面積とともに減少している。また、転作農地の有効利用は、農地の基盤整備率の向上とともに大豆が増加している。			〃 畜産農家が減少している。			― 農作業の省力化を図るため、大型ﾄﾗｸﾀｰ、ｺﾝﾊﾞｲﾝの導入が進んでいる。一方、水稲の作付面積が減少しているため農機具も減少傾向にある。					

第６節　地域環境の概況

〃

本地域は、水環境が多様で豊かな生態系が存在している。自然の川はなく、農業用用排水路が横断し、県内有数の穀倉地帯を潤している。また、地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデーターブック」に登載されている希少種及び希少種の食餌動植物等生育・生息に不可欠な種、良好な環境の指標となる種の生育・生息が確認されている。

地域ではそれらの生態系に配慮し、水路の維持管理に取り組んでいる。

第４章　一　般　計　画

上段：変更後
下段：変更前

第１節　事業計画の要旨

１．要　　旨

本計画にて高生産性ほ場を造成することにより、区画形質〃の改善、用排水路と農道の整備、換地による農地の集団化を総合的に実施し、農業生産性の向上をめざす。また、暗渠排水を施し、農地の汎用化を促進して、農作業効率の向上を図るとともに土地の生産性を高める。

環境との調和への配慮として、地域で生息・生育が確認されている動植物の生態環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境への改変を最小限にするよう努めることとする。

２．事業別面積

（第８表）

事業名 / 土地利用区分 / 事業目的	区画整理																		計	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	(ha)	
〃 区画整理	69.6 70.3	0.4 0.1			13.5 12.3	83.5 82.7													83.5 82.7	
計	69.6 70.3	0.4 0.1			13.5 12.3	83.5 82.7													83.5 82.7	

第２節　営農計画及び土地利用計画

上段：変更後
下段：変更前

１．営農計画の概要

本事業により農地の集団化、ほ場の汎用化、及び〃大型機械の導入をめざした土地基盤の整備を実施し、土地の高度利用と農業経営の近代化を図る。

事業をきっかけに、現在の個別完結型の農業から、農業者7名を中心とした営農組織を設立した後、集積を進めるとともに法人化する。一方で、規模拡大を志向する認定農業者3名が集積を進める。こうした取り組みにより、農機具等への過剰投資の抑制・有効利用等により、農業生産費削減と効率向上を図る。

２．土地利用区分

（第９表-1）

事業名	区分＼土地利用区分	水　田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶　園 (ha)	その他 (ha)	小　計 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
県営経営体育成基盤整備事業（区画整理）	現　況	73.6 73.2	〃 1.0	〃 0	〃 0	〃 0	〃 0	74.6 74.2	〃 0	〃 0	8.9 8.5	83.5 82.7	
	計　画	69.6 70.3	0.4 0.1	〃 0	〃 0	〃 0	〃 0	70.0 70.4	〃 0	〃 0	13.5 12.3	83.5 82.7	
	現　況												
	計　画												
計	現　況	73.6 73.2	〃 1.0	〃 0	〃 0	〃 0	〃 0	74.6 74.2	〃 0	〃 0	8.9 8.5	83.5 82.7	
	計　画	69.6 70.3	0.4 0.1	〃 0	〃 0	〃 0	〃 0	70.0 70.4	〃 0	〃 0	13.5 12.3	83.5 82.7	

上段：変更後
下段：変更前

３．作付方式

（第９表-2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目	2年目	3年目	4年目	備考
区画整理	現況	〃 水稲 ＋ 〃 大豆 牧草 ひまわり	田	〃 水稲 〃 大豆 〃 牧草 〃 ひまわり	〃 同左	〃 同左	〃 同左	
		〃 きゅうり	畑	〃 きゅうり	〃 同左	〃 同左	〃 同左	
	計画	〃 水稲 ＋ 〃 飼料用米 大豆 きゅうり	田	〃 水稲 〃 ＷＣＳ 〃 大豆 〃 きゅうり	〃 同左	〃 同左	〃 同左	
		〃 きゅうり	畑	〃 きゅうり	〃 同左	〃 同左	〃 同左	
				凡例 ○ 作付 ▭ 収穫				

４．生産計画

上段：変更後
下段：変更前

〃　〃
（現況本地率　水田:95.0%　畑:98.9%）
〃　〃
（計画本地率　水田:97.9%　畑:99.2%）

（第９表-3）

事業名	土地利用区分		作物名	作付面積（ha） 現況	計画	増減	作付率（%） 現況	計画	単位面積当たり収穫量(kg/10a) 現況	計画	増減	生産量（t） 現況	計画	増減	同左生産量増減の内訳（t） 面積増減	単位面積当たり収量増加	備考
県営経営体育成基盤整備事業（区画整理）	水田	表作	〃 水稲	58.5 58.2	40.2 40.4	△ 18.3 △ 17.8	82.5 82.6	58.7 58.6	552 555	596 566	44 11	322.9 323.0	239.6 228.7	△ 83.3 △ 94.3	△ 101.0 △ 98.8	17.7 4.5	
			〃 飼料用米	〃 －	〃 8.8	〃 8.8	〃 －	〃 12.8	552 555	596 566	44 11	〃 －	52.4 49.8	52.4 49.8	52.4 48.8	－ 1.0	
			〃 大豆	〃 1.3	18.6 18.7	17.3 17.4	〃 1.8	〃 27.2	151 126	249 208	98 82	2.0 1.6	46.3 38.9	44.3 37.3	43.1 21.9	1.3 15.3	
			〃 牧草	〃 0.6	〃 －	〃 △ 0.6	0.8 0.9	〃 －	925 956	1,351 1,396	426 440	5.6 5.7	〃 －	△ 5.6 △ 5.7	△ 5.6 △ 5.7	〃 －	
			〃 景観作物	〃 0.6	〃 －	〃 △ 0.6	0.8 0.9	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
			〃 その他野菜	0.1 －	0.5 0.9	0.4 －	0.2 －	0.7 1.3	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
			〃 調整水田	〃 1.3	〃 －	〃 △ 1.3	〃 1.8	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
			〃 自己保全管理	〃 7.5	〃 －	〃 △ 7.5	〃 10.6	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
		裏作															
	小　計			69.9 69.5	68.1 68.8	△ 1.8 △ 1.6	98.5 98.6	99.4 99.9									
	普通畑	春夏作	〃 その他野菜	〃 1.0	0.4 0.1	△ 0.6 △ 0.9	1.5 1.4	0.6 0.1									
		秋冬作															
	小　計			〃 1.0	0.4 0.1	△ 0.6 △ 0.9	1.5 1.4	0.6 0.1									
合　計				70.9 70.5	68.5 68.9	△ 2.4 △ 2.5	〃 100.0	〃 100.0									

※作付面積は本地面積で整理

上段：変更後
下段：変更前

５．労働改善計画

（第９表-4）

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a） 区分	現況	計画	増減	備考
県営経営体育成基盤整備事業（区画整理）	〃 水田	〃 水稲	8.9 9.5	人力	〃 33.8	22.1 25.6	11.7 8.2	(No,1-1) 10a湿田→30a乾田 (No,1-2) 10a湿田→30a乾田
				機械力	〃 23.8	18.7 22.4	5.1 1.4	
			40.1 39.7	人力	〃 33.8	4.8 6.5	29.0 27.3	〃 (No,4) 10a湿田→大区画乾田
				機械力	〃 23.8	5.2 8.4	18.6 15.4	
		〃 大豆	18.6 18.7	人力	〃 12.5	4.2 4.0	8.3 8.5	〃 10a湿田→大区画乾田
				機械力	〃 28.9	9.8 9.4	19.1 19.5	
	計		67.6 67.9					
合計			67.6 67.9					

上段：変更後
下段：変更前

6．　級地別土地利用区分

〃
該当なし

（第９表-5）

区分 / 土地利用区分	級地名	農用地造成（ha）					干拓（ha）					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草地）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑園）											
その他												
計												

7．　土地配分計画

〃
該当なし

（第９表-6）

項目 / 区分	配分戸数（戸）	地目別配分計画（ha）								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草地	樹園地				
増反		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	
入植		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	

上段：変更後
下段：変更前

第３節　用水計画

１．計画基準年

〃
昭和53年
（本地区の上位事業である、「国営胆沢平野農業水利事業」及び「県営農業用水再編対策事業胆沢平野地区」より）

２．計画かんがい方式

〃
水田（水稲）　　湛水かんがい方式

〃
かんがい期間 ４月21日～９月10日　　143日間

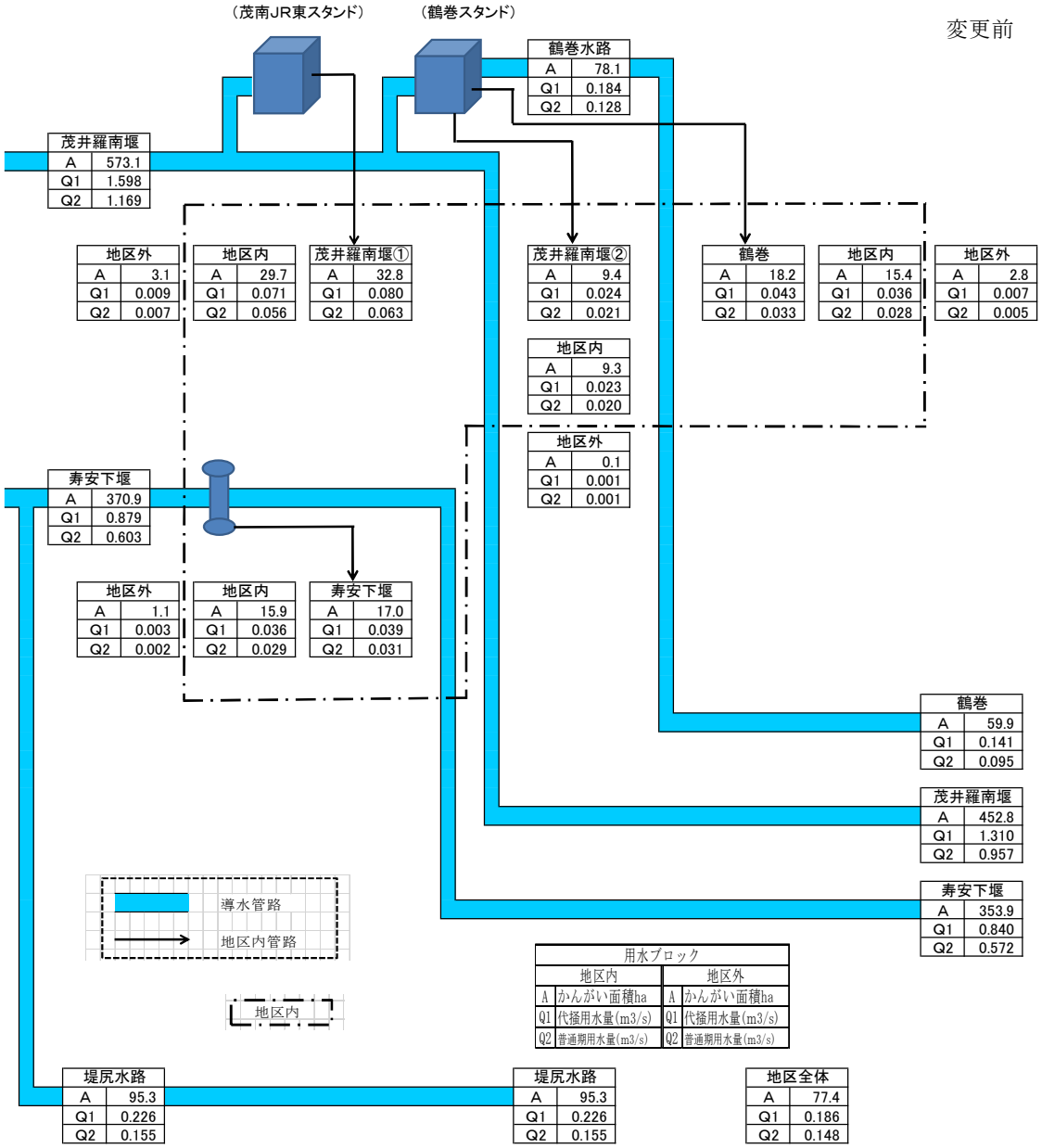
〃
（代掻き期間４月21日～５月５日　　15日間）

３．計画用水系統図

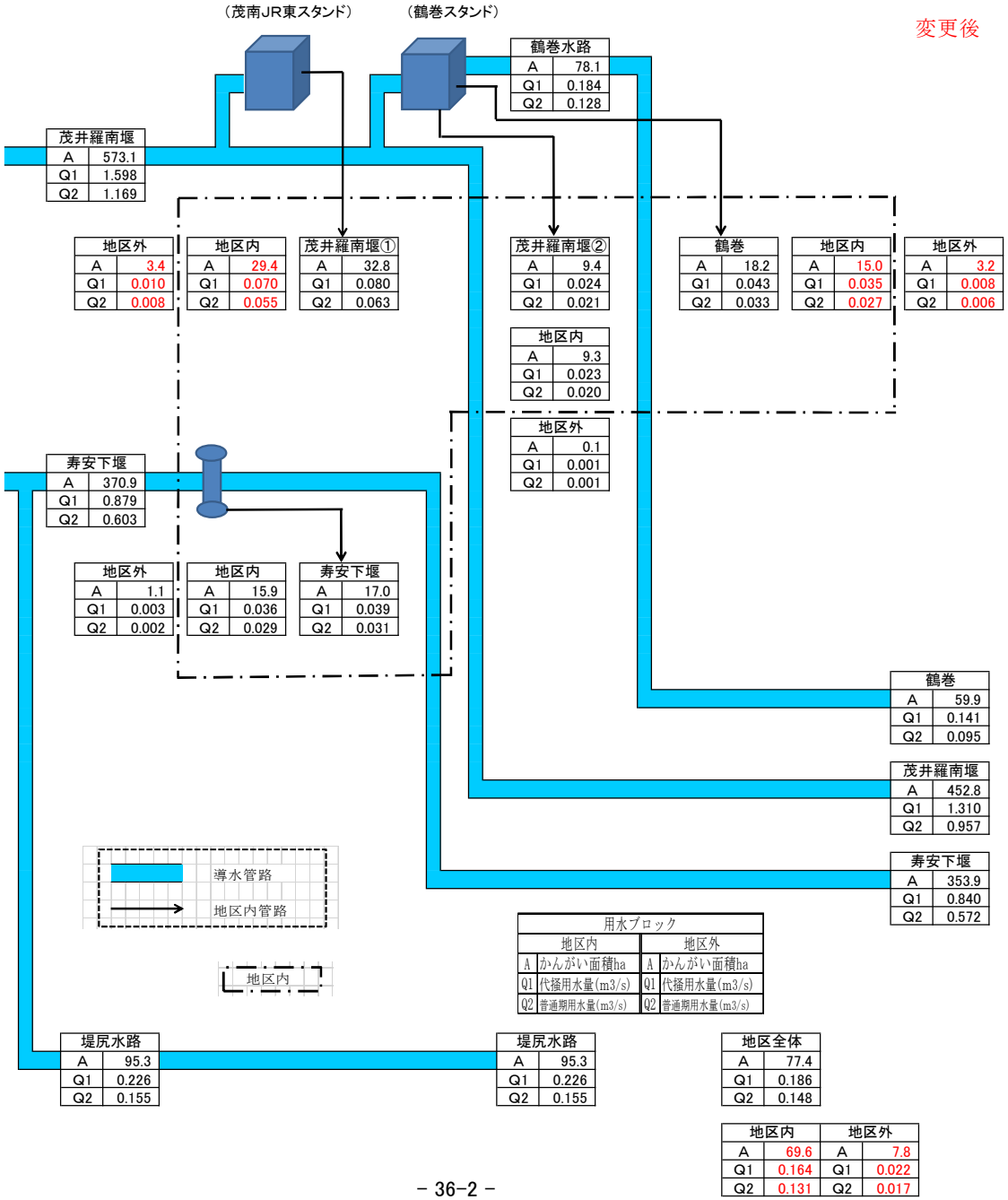
〃
次頁参照

計画用水系統模式図

変更前



計画用水系統模式図


変更後
（茂南JR東スタンド）
（鶴巻スタンド）
鶴巻水路
A 78.1
Q1 0.184
Q2 0.128
茂井羅南堰
A 573.1
Q1 1.598
Q2 1.169
地区外
A 3.4
Q1 0.010
Q2 0.008
地区内
A 29.4
Q1 0.070
Q2 0.055
茂井羅南堰①
A 32.8
Q1 0.080
Q2 0.063
茂井羅南堰②
A 9.4
Q1 0.024
Q2 0.021
鶴巻
A 18.2
Q1 0.043
Q2 0.033
地区内
A 15.0
Q1 0.035
Q2 0.027
地区外
A 3.2
Q1 0.008
Q2 0.006
地区内
A 9.3
Q1 0.023
Q2 0.020
地区外
A 0.1
Q1 0.001
Q2 0.001
寿安下堰
A 370.9
Q1 0.879
Q2 0.603
地区外
A 1.1
Q1 0.003
Q2 0.002
地区内
A 15.9
Q1 0.036
Q2 0.029
寿安下堰
A 17.0
Q1 0.039
Q2 0.031
鶴巻
A 59.9
Q1 0.141
Q2 0.095
茂井羅南堰
A 452.8
Q1 1.310
Q2 0.957
寿安下堰
A 353.9
Q1 0.840
Q2 0.572
導水管路
地区内管路
地区内
用水ブロック
地区内
A かんがい面積ha
Q1 代掻用水量(m3/s)
Q2 普通期用水量(m3/s)
地区外
A かんがい面積ha
Q1 代掻用水量(m3/s)
Q2 普通期用水量(m3/s)
堤尻水路
A 95.3
Q1 0.226
Q2 0.155
堤尻水路
A 95.3
Q1 0.226
Q2 0.155
地区全体
A 77.4
Q1 0.186
Q2 0.148
地区内
A 69.6
Q1 0.164
Q2 0.131
地区外
A 7.8
Q1 0.022
Q2 0.017

4．計画用水量

上段：変更後
下段：変更前

(1)　かんがい用水

（第１０表-1-1）

項目 / 系統名	種別	面積（ha） 事業名 区画整理	地区外	計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量（mm/日）	代かき期 計画代かき単位用水量（mm）	面積（ha）	水田畑利用 一日当たり計画平均かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	その他 計画平均単位用水量（mm/日）	面積（ha）	消費水量（m3/s）	損失率（%）	粗用水量 平均（m3/s）	最大（m3/s）	備考
茂井羅南堰	農業用水	38.7 39.0	3.5 3.2	〃 42.2	〃 12～16	〃 90～100	〃 42.2									〃 0.094	〃 10	〃 0.084	〃 0.104	
鶴巻水路	農業用水	15.0 15.4	3.2 2.8	〃 18.2	〃 12～22	〃 100～110	〃 18.2									〃 0.039	〃 10	〃 0.033	〃 0.043	
寿安下堰	農業用水	〃 15.9	〃 1.1	17.0	〃 12～16	〃 90～100	17.0									〃 0.035	〃 10	〃 0.031	〃 0.039	
計		69.6 70.3	7.8 7.1	〃 77.4			〃 77.4									〃 0.168		〃 0.148	〃 0.186	

（２）　営 農 飲 雑 用 水

上段：変更後
下段：変更前

〃
該当なし

（第１０表-1-2）

区分	利用目的	対象面積（ha）			日当たり給水量		補給回数（回）	関係戸数（戸）	備考
		事業名			単位給水量（リットル/日）	最大給水量（リットル/日）			
				計					

５．水源計画

上段：変更後
下段：変更前

(1)　水利用計画

〃
有効雨量　　水田(水稲)：5㎜/日～80㎜/日の80％
〃
(畑利用)：－
〃
TRAM　　水田(畑利用)：－㎜
〃
間断日数　　水田(畑利用)：－日
〃
かんがい効率　　水田(水稲)：85、90％
〃
水田(畑利用)：－％

（第１０表-2）

区分 ＼ 項目		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d=c/(1-α) (千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)		(千m³)		損失率：α
事業名	区画整理	〃 1,680	－ －	〃 1,680	〃 1,860	〃 若柳頭首工	〃 1,860	〃 1,680	〃 0	〃 0	〃 －	〃 1,860	〃 頭首工	〃 0.10
	計	〃 1,680	〃 0	〃 1,680	〃 1,860		〃 1,860	〃 1,680	〃 0	〃 0	〃 －	〃 1,860		

（２）用水対策

上段：変更後
下段：変更前

（ア）　貯　水　池　　該当なし〃

（第１０表-3）

項目 / 貯水池名	流域面積（km²）		かんがい面積（ha）			純貯水量	純貯水量	利用貯水量	利用回数	最大取水量	備考
	直接	間接	事業名								
			区画整理		計	（千m³）	（千m³）	（千m³）	（回）	（m³／s）	

（イ）井堰及び自然取入口　　該当なし〃

（第１０表-4）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積（km²）	かんがい面積（ha）			取水量（m³/s）		渇水量（m³/s）	備考
			事業名			最大	平均		
			区画整理		計				

（ウ）　揚　水　機　　該当なし〃

（第１０表-5）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積（ha）			所要水量（m³/s）		揚水機				備考
		事業名					実揚程（m）	揚水量（m³/s）	台数（台）	全揚水量（m³/s）	
		区画整理		計	最大	平均					

上段：変更後
下段：変更前

（エ）用　水　路

（第１０表-6）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名 区画整理	（地区外）	計	最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	備考
〃	69.6	7.8	〃	〃	10.514	〃	
用水路工	70.3	7.1	77.4	0.186	12.203	VU300～VU100	

（オ）その他の水源施設　　該当〃なし

（３）　水質水温　　該当〃なし

上段：変更後
下段：変更前

第４節　排水計画

１．計画基準雨量

〃
（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　平成26年3月版　若柳観測所）

	〃	〃
最大２４時間雨量	139.2 mm （1／10年）	93.2 mm （1/2年）
最大　４時間雨量	〃 68.6 mm （1／10年）	〃 48.4 mm （1/2年）
最大　１時間雨量	〃 33.0 mm （1／10年）	〃 22.3 mm （1/2年）

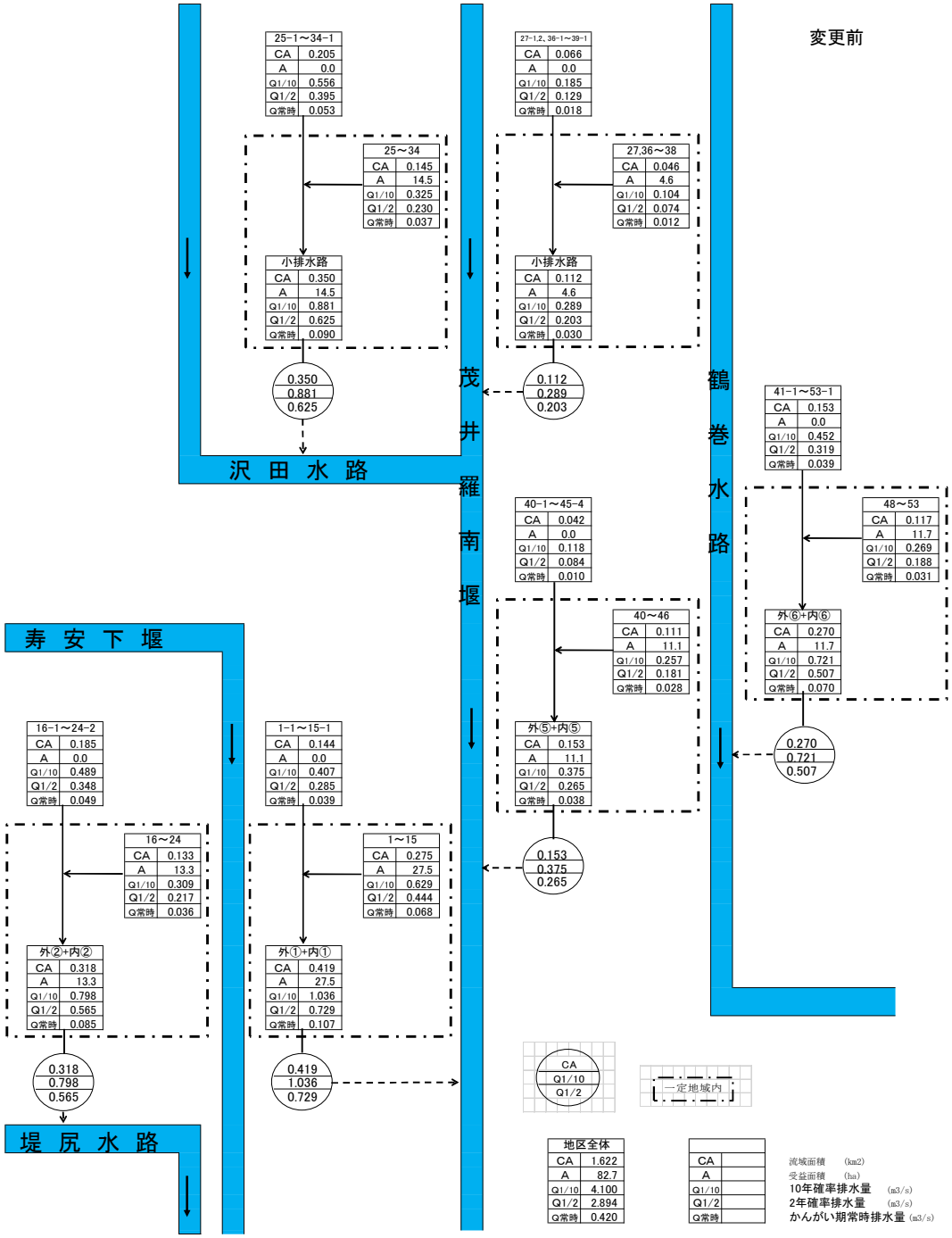
２．計画排水方式

〃
自然流下排水

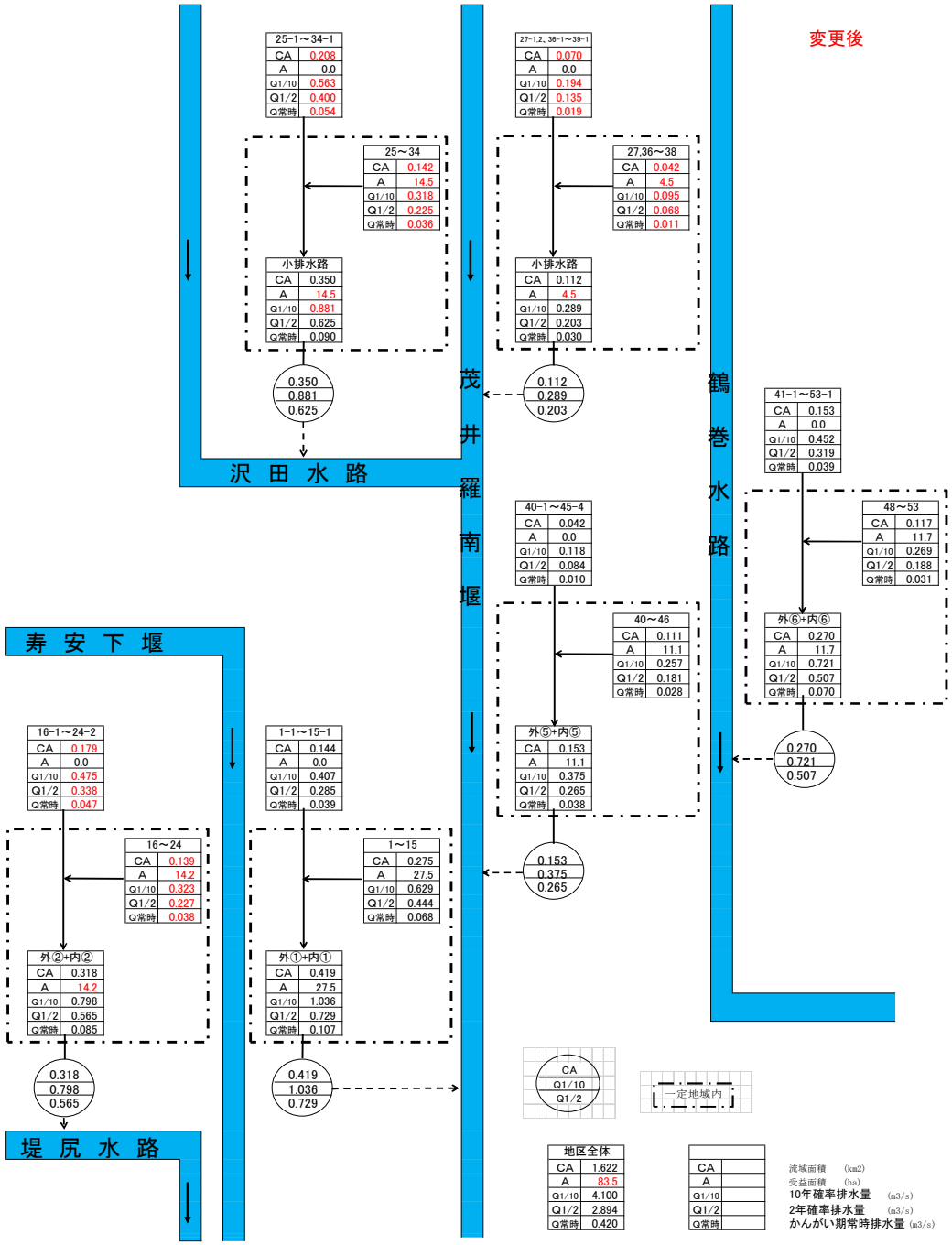
３．計画排水系統図

〃
次頁参照

計 画 排 水 系 統 模 式 図


変更前
25-1～34-1
CA 0.205
A 0.0
Q1/10 0.556
Q1/2 0.395
Q常時 0.053
25～34
CA 0.145
A 14.5
Q1/10 0.325
Q1/2 0.230
Q常時 0.037
小排水路
CA 0.350
A 14.5
Q1/10 0.881
Q1/2 0.625
Q常時 0.090
0.350
0.881
0.625
27-1,2、36-1～39-1
CA 0.066
A 0.0
Q1/10 0.185
Q1/2 0.129
Q常時 0.018
27,36～38
CA 0.046
A 4.6
Q1/10 0.104
Q1/2 0.074
Q常時 0.012
小排水路
CA 0.112
A 4.6
Q1/10 0.289
Q1/2 0.203
Q常時 0.030
0.112
0.289
0.203
沢 田 水 路
茂 井 羅 南 堰
鶴 巻 水 路
41-1～53-1
CA 0.153
A 0.0
Q1/10 0.452
Q1/2 0.319
Q常時 0.039
48～53
CA 0.117
A 11.7
Q1/10 0.269
Q1/2 0.188
Q常時 0.031
外⑥+内⑥
CA 0.270
A 11.7
Q1/10 0.721
Q1/2 0.507
Q常時 0.070
0.270
0.721
0.507
40-1～45-4
CA 0.042
A 0.0
Q1/10 0.118
Q1/2 0.084
Q常時 0.010
40～46
CA 0.111
A 11.1
Q1/10 0.257
Q1/2 0.181
Q常時 0.028
外⑤+内⑤
CA 0.153
A 11.1
Q1/10 0.375
Q1/2 0.265
Q常時 0.038
0.153
0.375
0.265
寿 安 下 堰
16-1～24-2
CA 0.185
A 0.0
Q1/10 0.489
Q1/2 0.348
Q常時 0.049
16～24
CA 0.133
A 13.3
Q1/10 0.309
Q1/2 0.217
Q常時 0.036
外②+内②
CA 0.318
A 13.3
Q1/10 0.798
Q1/2 0.565
Q常時 0.085
0.318
0.798
0.565
1-1～15-1
CA 0.144
A 0.0
Q1/10 0.407
Q1/2 0.285
Q常時 0.039
1～15
CA 0.275
A 27.5
Q1/10 0.629
Q1/2 0.444
Q常時 0.068
外①+内①
CA 0.419
A 27.5
Q1/10 1.036
Q1/2 0.729
Q常時 0.107
0.419
1.036
0.729
堤 尻 水 路
CA
Q1/10
Q1/2
一定地域内
地区全体
CA 1.622
A 82.7
Q1/10 4.100
Q1/2 2.894
Q常時 0.420
CA
A
Q1/10
Q1/2
Q常時
流域面積 (km2)
受益面積 (ha)
10年確率排水量 (m3/s)
2年確率排水量 (m3/s)
かんがい期常時排水量 (m3/s)

計 画 排 水 系 統 模 式 図


変更後
25-1～34-1
CA 0.208
A 0.0
Q1/10 0.563
Q1/2 0.400
Q常時 0.054
25～34
CA 0.142
A 14.5
Q1/10 0.318
Q1/2 0.225
Q常時 0.036
小排水路
CA 0.350
A 14.5
Q1/10 0.881
Q1/2 0.625
Q常時 0.090
0.350
0.881
0.625
27-1,2, 36-1～39-1
CA 0.070
A 0.0
Q1/10 0.194
Q1/2 0.135
Q常時 0.019
27,36～38
CA 0.042
A 4.5
Q1/10 0.095
Q1/2 0.068
Q常時 0.011
小排水路
CA 0.112
A 4.5
Q1/10 0.289
Q1/2 0.203
Q常時 0.030
0.112
0.289
0.203
沢 田 水 路
茂 井 羅 南 堰
鶴 巻 水 路
41-1～53-1
CA 0.153
A 0.0
Q1/10 0.452
Q1/2 0.319
Q常時 0.039
48～53
CA 0.117
A 11.7
Q1/10 0.269
Q1/2 0.188
Q常時 0.031
外⑥+内⑥
CA 0.270
A 11.7
Q1/10 0.721
Q1/2 0.507
Q常時 0.070
0.270
0.721
0.507
40-1～45-4
CA 0.042
A 0.0
Q1/10 0.118
Q1/2 0.084
Q常時 0.010
40～46
CA 0.111
A 11.1
Q1/10 0.257
Q1/2 0.181
Q常時 0.028
外⑤+内⑤
CA 0.153
A 11.1
Q1/10 0.375
Q1/2 0.265
Q常時 0.038
0.153
0.375
0.265
寿 安 下 堰
16-1～24-2
CA 0.179
A 0.0
Q1/10 0.475
Q1/2 0.338
Q常時 0.047
16～24
CA 0.139
A 14.2
Q1/10 0.323
Q1/2 0.227
Q常時 0.038
外②+内②
CA 0.318
A 14.2
Q1/10 0.798
Q1/2 0.565
Q常時 0.085
0.318
0.798
0.565
1-1～15-1
CA 0.144
A 0.0
Q1/10 0.407
Q1/2 0.285
Q常時 0.039
1～15
CA 0.275
A 27.5
Q1/10 0.629
Q1/2 0.444
Q常時 0.068
外①+内①
CA 0.419
A 27.5
Q1/10 1.036
Q1/2 0.729
Q常時 0.107
0.419
1.036
0.729
堤 尻 水 路
CA
Q1/10
Q1/2
一定地域内
地区全体
CA 1.622
A 83.5
Q1/10 4.100
Q1/2 2.894
Q常時 0.420
CA
A
Q1/10
Q1/2
Q常時
流域面積 (km2)
受益面積 (ha)
10年確率排水量 (m3/s)
2年確率排水量 (m3/s)
かんがい期常時排水量 (m3/s)

上段：変更後
下段：変更前

4．計画排水量

（第１１表-1）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名 区画整理		計	流域面積（km²） 山地	平地	基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（m³/s/km²） 山地	平地	基底流出量（m³/s/km²） 山地	平地	全排水量（m³/s） 山地	平地 自然排水	機械排水	単位排水量（m³/s/km²） 山地	平地	備考
茂井羅南堰	43.1 43.2		43.1 43.2		〃 0.684	〃 68.6mm/4hr	〃 1/10確率 1.667	〃 1.429～ 4.288		〃 0.25		〃 1.700	〃 －	〃 1/10確率 1.667	〃 1.429～ 4.288	
堤尻水路	14.2 13.3		14.2 13.3		〃 0.318	〃 －	〃 －	〃 －		〃 －		〃 0.798	〃 －	〃 －	〃 －	
沢田水路	14.5 14.5		14.5 14.5		〃 0.350	〃 －	〃 －	〃 －		〃 －		〃 0.881	〃 －	〃 －	〃 －	
鶴巻水路	〃 11.7		〃 11.7		〃 0.270	〃 －	〃 －	〃 －		〃 －		〃 0.721	〃 －	〃 －	〃 －	
計	83.5 82.7		83.5 82.7		〃 1.622							〃 4.100	〃 －			

５．排水対策

上段：変更後
下段：変更前

（１）排水水門

〃
該当なし

（第１１表-2）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画 排水量 (m³/s)	計画 地区内たん水深 (m)	排水本川 名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	備考
				計						

（２）排水機

〃
該当なし

（第１１表-3）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画 排水量 (m³/s)	計画 地区内たん水深 (m)	排水機 実揚程 (m)	排水量 (m³/s)	台数 (台)	全排水量 (m3/s)	備考
				計							

上段：変更後
下段：変更前

(3)　排水路

（第１１表-4）

項目 名称	流域面積 (km^2)	受益面積 (ha) 事業名 区画整理		計	計画排水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (m^3/s)	計画洪水位 (m)	備考
〃 小排水路	〃 1.622	83.5 82.7		83.5 82.7	〃 4.100	13.110 12.326	HF300×300 ～HF2000×1500 HF300×300 ～HF900×900	〃 北上川	〃 －	〃 －	
計	〃 1.622	83.5 82.7		83.5 82.7	〃 4.100	13.110 12.326					

(4)　その他

〃
該当なし

６．湛水検討

〃
該当なし

第５節　道路計画

上段：変更後
下段：変更前

１．道路及び索道

（１）道路

（第１２表-1）

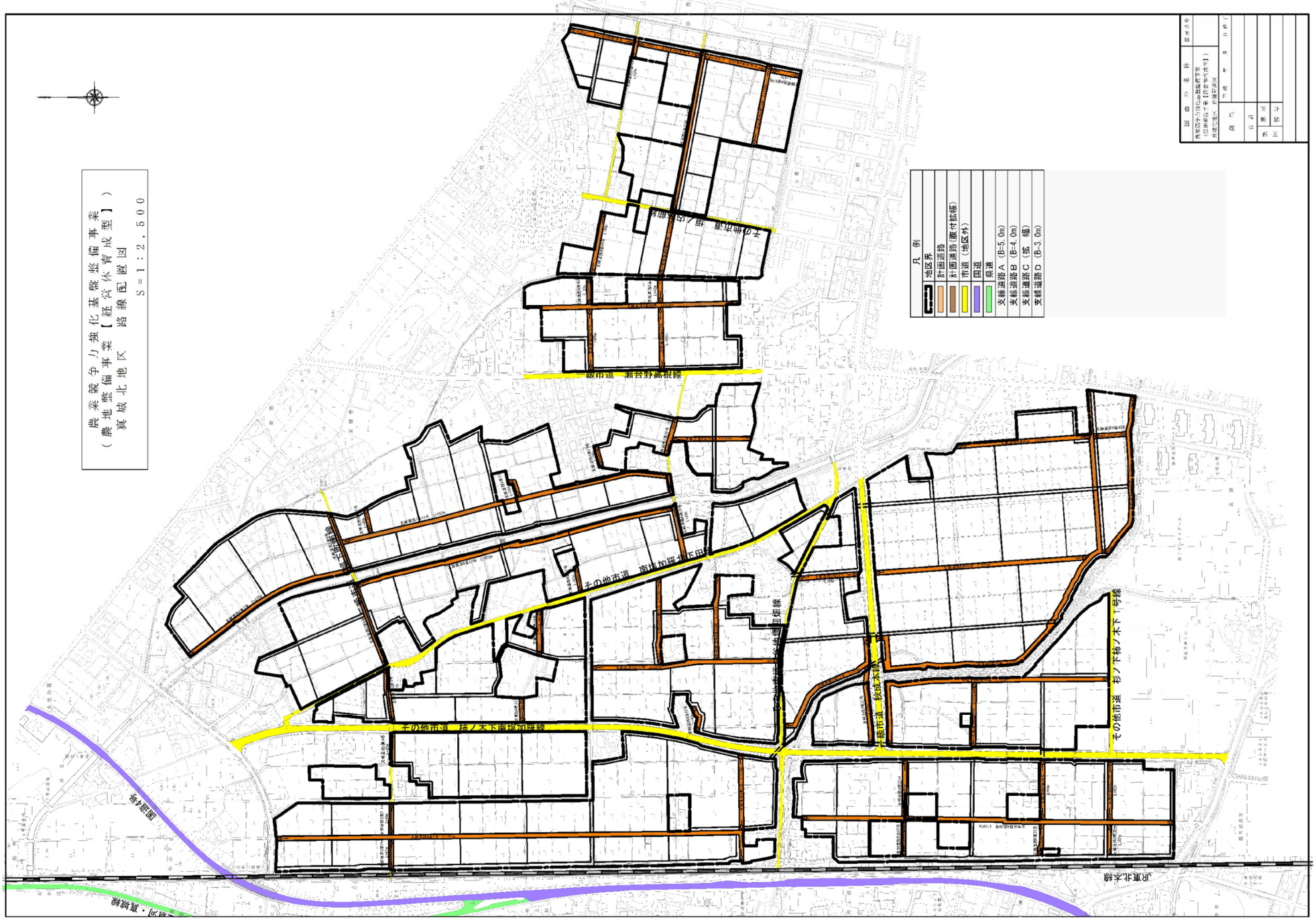
項　目 路線名	幅(有効)×延長 (m)　　(km)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
〃 支線道路（A）	5.0(4.0)×5.221 5.0(4.0)×7.978	〃 敷砂利工（ｔ＝10cm）	〃 市道取付あり	
〃 支線道路（B）	4.0(3.0)×1.119 4.0(3.0)×0.232	〃 敷砂利工（ｔ＝10cm）	〃 市道取付あり	
〃 支線道路（C）	3.0(2.0)×4.685 3.0(2.0)×0.753	〃 敷砂利工（ｔ＝10cm）	〃 市道取付あり	腹付拡幅含む
計	L=11.025km L=8.963km			

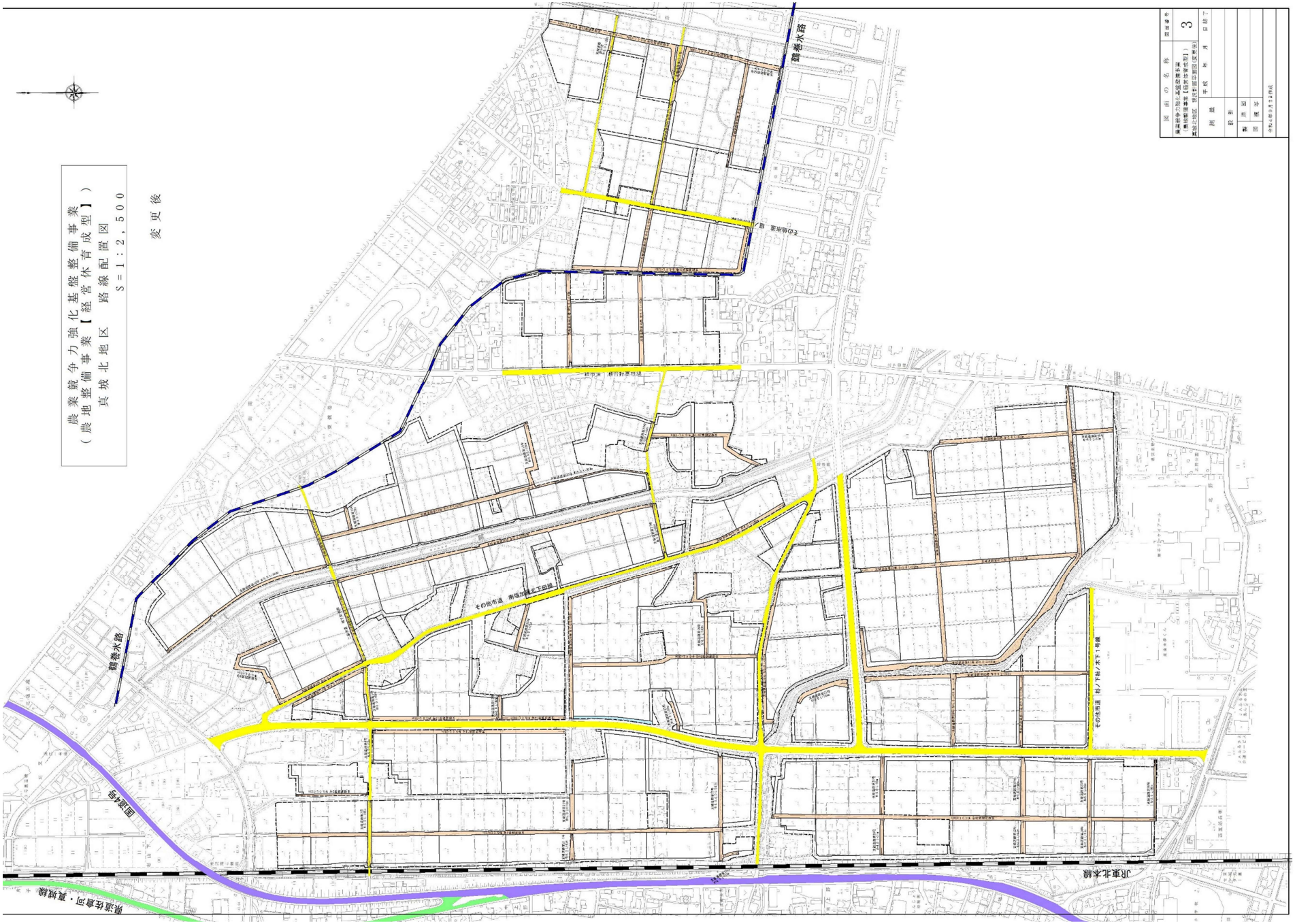
（２）索道

〃
該当なし

２．路線配置図

〃
別紙のとおり

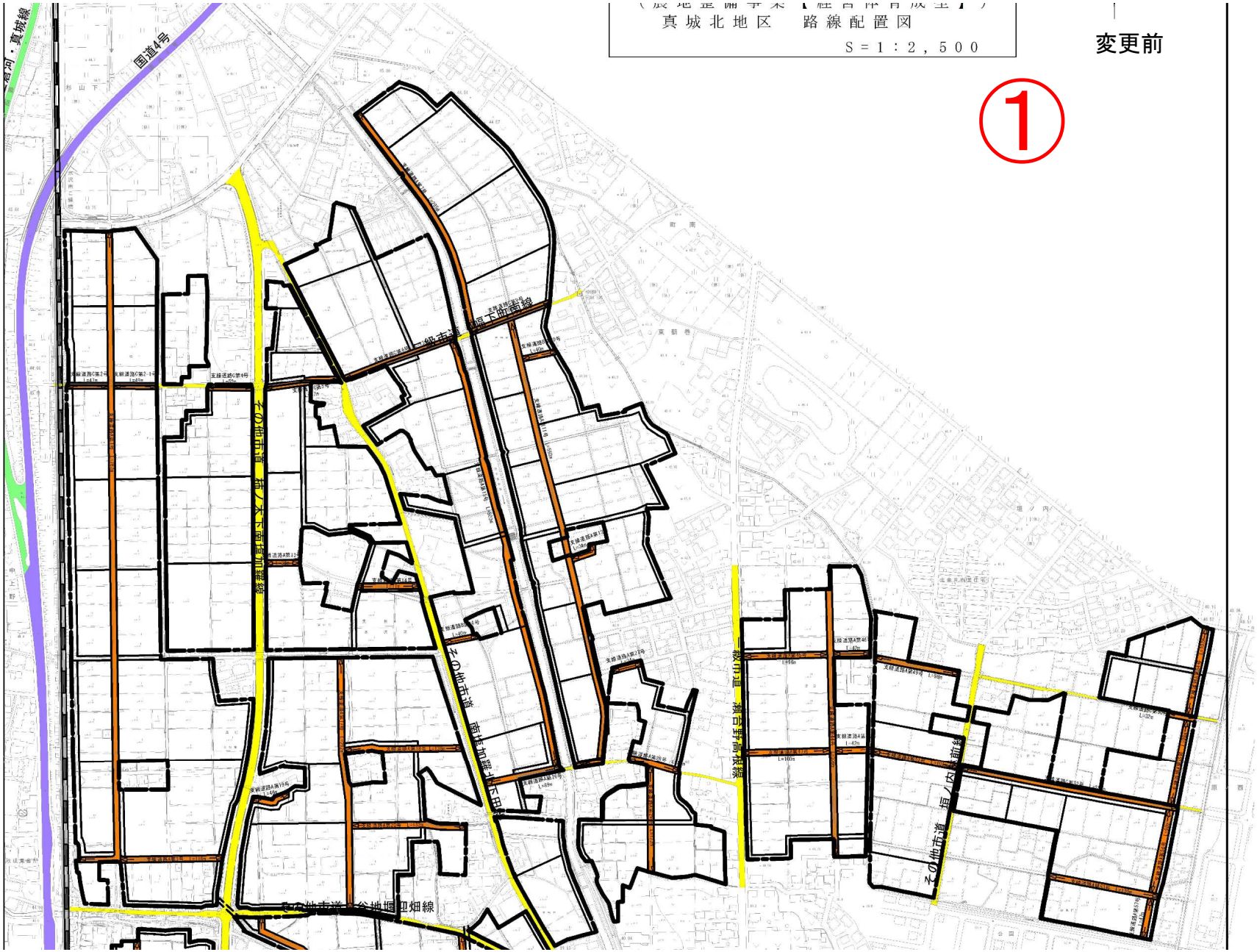

農業競争力強化基盤整備事業
（農地整備事業【経営体育成型】）
真城北地区　路線配置図
S＝1：2,500
凡例
地区界
計画道路
計画道路（幅付拡幅）
市道（地区外）
国道
県道
支線道路A（B-5.0m）
支線道路B（B-4.0m）
支線道路C（拡幅）
支線道路D（B-3.0m）
その他市道　南堤加賀上石田線
その他市道　柿ノ木下南堤加賀線
その他市道　杉ノ下柿ノ木下1号線
その他市道　鎌台野島根線
JR東北本線
国道4号


農業競争力強化基盤整備事業
（農地整備事業【経営体育成型】）
真坡北地区　路線配置図
S＝1：2,500
変更後
鶴巻水路
その他市道　相川野原線
その他市道　南塚加藤北下田線
その他市道　杉ノ下桜ノ木下1号線
JR東北本線
国道4号
東武佐倉河・真坡線

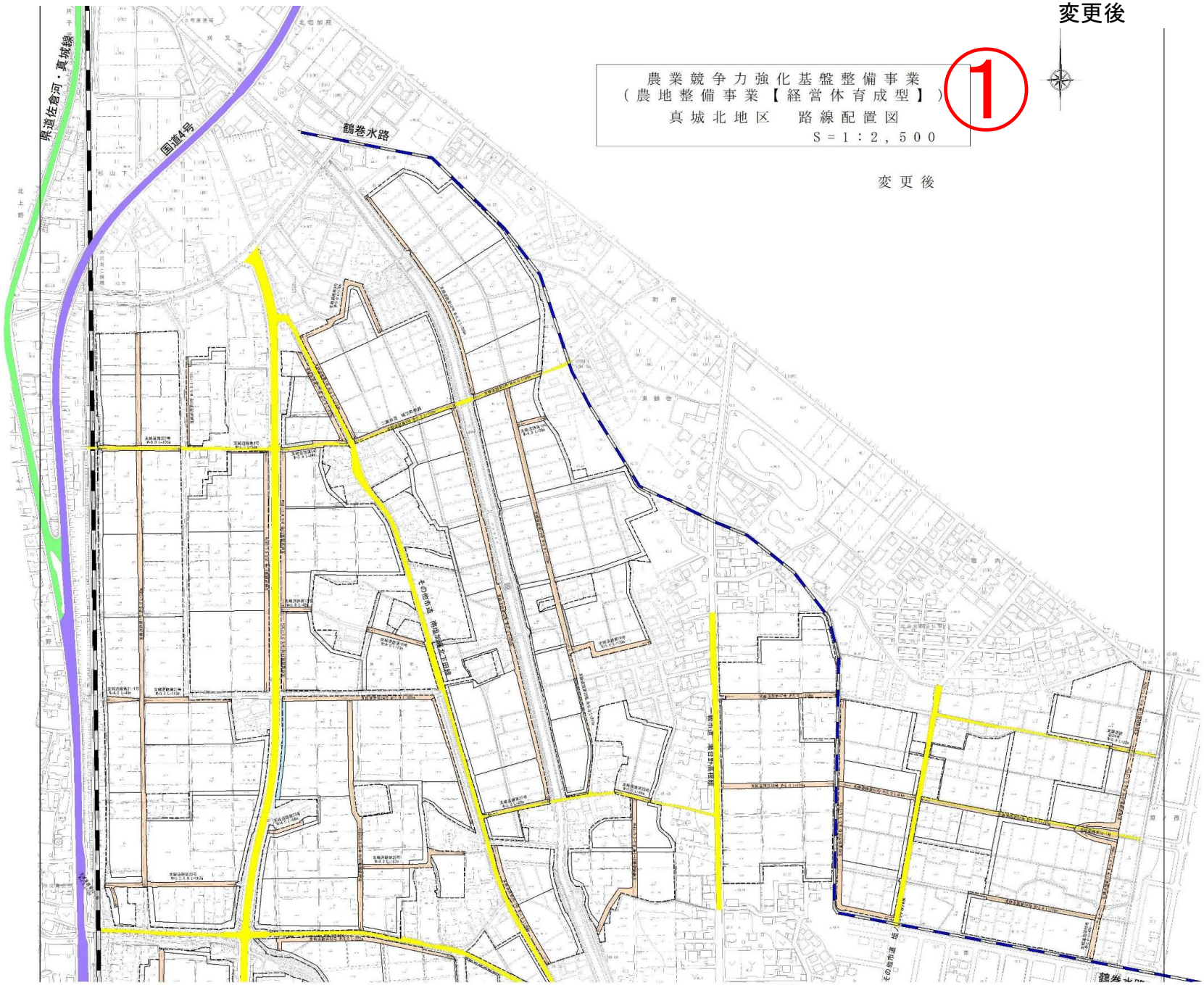
（震地整備事業【経営体育成型】）
真城北地区　路線配置図
S＝1：2，500

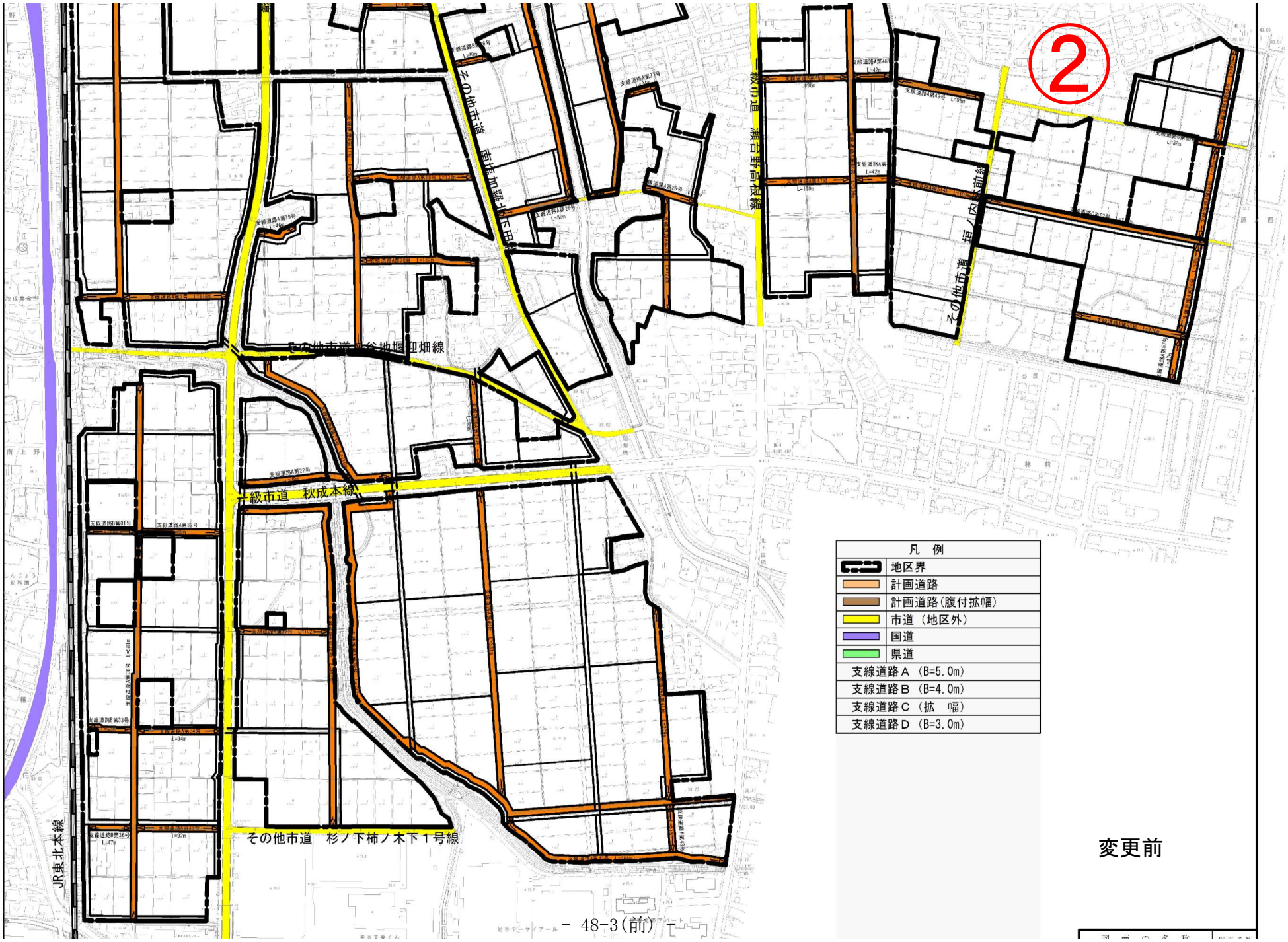
変更前

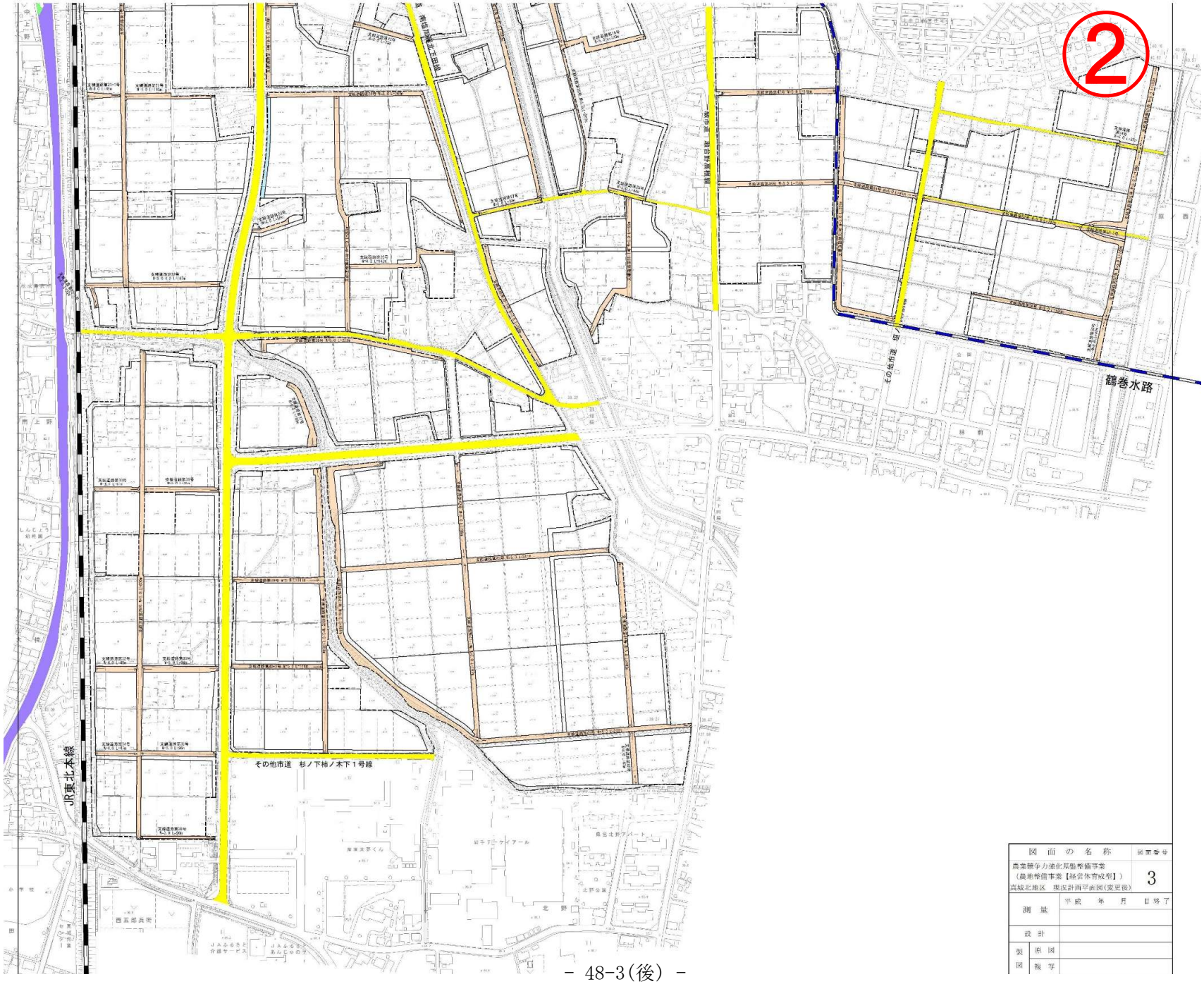
①



変更後


農業競争力強化基盤整備事業
（農地整備事業【経営体育成型】）
真城北地区　路線配置図
S＝1：2，500
1
変更後
県道佐倉河・真城線
国道4号
鶴巻水路
その他市道


②
その他市道　南青加羅上ヶ田
級市道　横谷野高根線
その他市道　垣人内下前線
その他市道　谷地堰迎畑線
級市道　秋成本線
その他市道　杉ノ下柿ノ木下１号線
JR東北本線
凡　例
地区界
計画道路
計画道路(腹付拡幅)
市道（地区外）
国道
県道
支線道路Ａ（B=5.0m）
支線道路Ｂ（B=4.0m）
支線道路Ｃ（拡　幅）
支線道路Ｄ（B=3.0m）
変更前



変更後

図面の名称	図面番号
農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業【緑営体育成型】）真城北地区　現況計画平面図（変更後）	3
測量	平成　年　月　日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	

第６節　農用地造成計画

上段：変更後
下段：変更前

１．農用地造成計画

(1)農地造成計画

〃
該当なし

（第１３表-1）

項目 地区名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備　　考

(2)末端道排水路配置計画

〃
該当なし

２．土壌改良

〃
該当なし

（第１３表-2）

項目 区分	面　積 (ha)	土壌統 （区）名	ＰＨ		置換酸度 (Y_1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量（t/ha）			備　　考
			H_2O	KGl			石炭	りん酸質資材	有機質資材	

第７節　洪水調節計画

上段：変更後
下段：変更前

１．計画基準雨量　該当なし

２．計画洪水量及び調節量

〃
該当なし

（第１４表-1）

地　　点	流域面積 (km²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m³/s)	安全洪水量 (m³/s)	必要調節量 (m³/s)	ピーク時調節量 (m³/s)	調節後最大流量 (m³/s)	調節前後の最大流量の差 (m³/s)	最大調節量 (m³/s)

３．貯水池

〃
該当なし

（第１４表-2）

項目／貯水地名	流域面積(km²)		計画洪水量 (m³/s)	貯水量（千m³）			計画調節流量 (m³/s)	可能調節流量 (m³/s)	備　考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

上段：変更後
下段：変更前

４．洪水調節検討

（１）河川改修計画との関係　　〃 該当なし

（２）洪水調節が下流に及ぼす影響　　〃 該当なし

（３）計画基準雨量以外についての検討　　〃 該当なし

５．管理計画

（１）管理機構　　〃 該当なし

（２）ダム管理操作上の各種基準　　〃 該当なし

（３）洪水調節要領　　〃 該当なし

第８節　干拓計画

〃 該当なし

（第１５表）

項目 / 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (ＩＰｍ)	風向及び対岸距離 (km)	風　速 (m/s)	気　圧 (mb)	備　　考

第９節　農用地整備計画

上段：変更後
下段：変更前

１．区画整理

(1)　区画の形状

（第１６表-1）

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割　　合 (%)	田　面　差 (m)	備　　考
〃 100　×　100	〃 1.0以上	17.4 19.3	25 27	〃 0.8～0.1	〃 水　田
〃 100　×　50	〃 0.5以上	33.8 27.3	48 39	〃 0.8～0.1	〃 〃
〃 不定形	〃 0.3以上	13.7 17.3	20 25	〃 0.8～0.1	〃 〃
〃 不定形	〃 0.3未満	5.1 6.5	7 9	〃 0.8～0.1	〃 水　田　、　畑
計		70.0 70.4			

(2)　表土扱い

（第１６表-2）

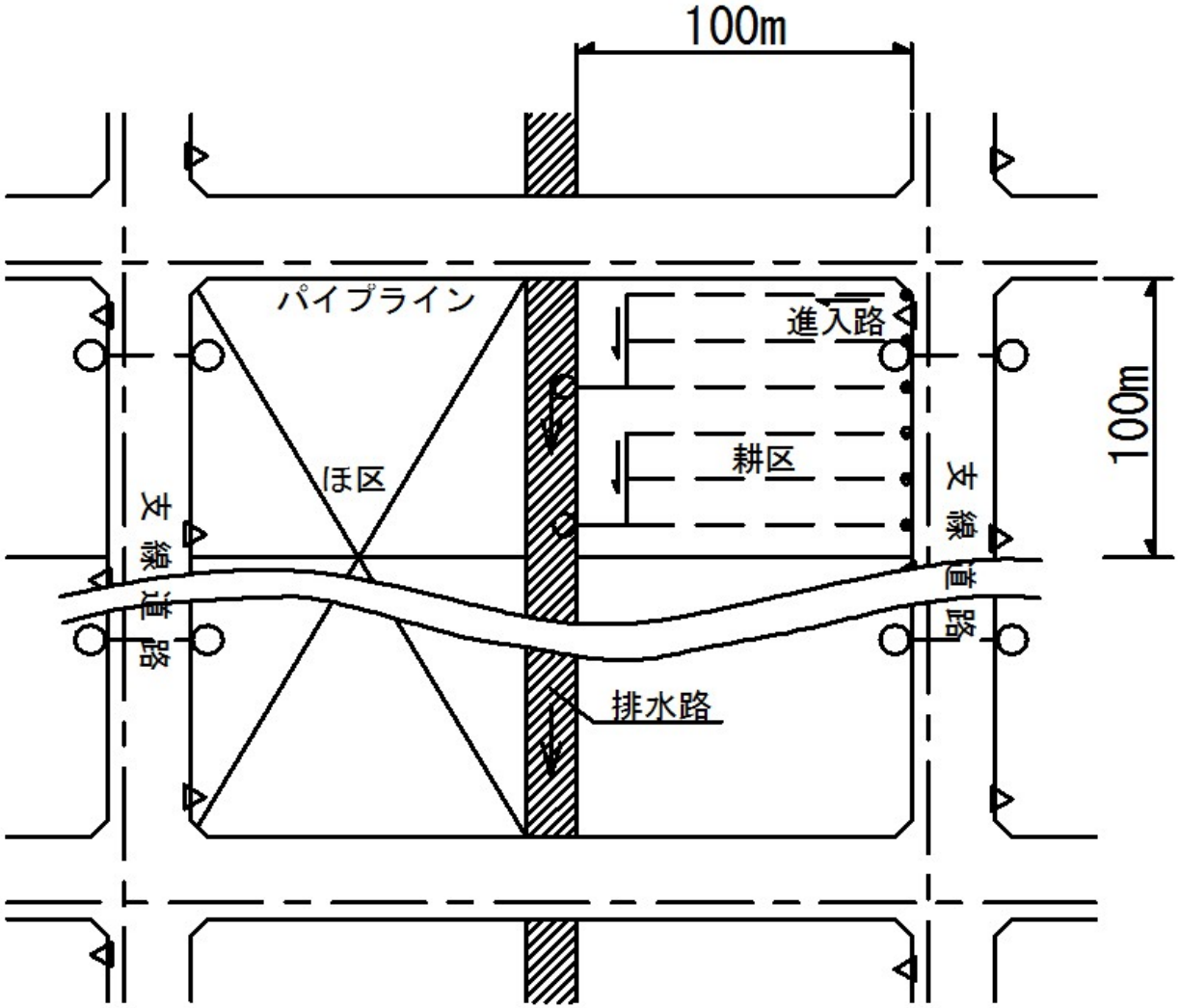
面　　積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土　　量 (m3)	備　　考
70.0	〃	〃	105,600	水田69.6ha×15cm=104,400m3 畑0.4ha×30cm=1,200m3
70.4	地力の保持	15	105,750	水田70.3ha×15cm=105,450m3 畑0.1ha×30cm=300m3

(3)　末端道水路配置図

〃
別紙のとおり

末端道水路配置図

変更なし



上段：変更後
下段：変更前

２．暗渠排水

（1）暗渠排水

（第16表-3-1）

区分＼項目	面積（ha）事業名 区画整理		計	土壌統（区）名	基準雨量（mm/日）	単位排水量（L/s/ha）	計画後の地下水位（m）	集水渠出口以下の排水方法	備考
暗渠排水	21.5 22.1		21.5 22.1	〃 黄褐色土壌壌土マンガン型	〃 50	〃 5.79	〃 0.4	〃 自然排水	〃 I83
暗渠排水	24.0 24.3		24.0 24.3	〃 灰褐色土壌強粘土構造型	〃 50	〃 5.79	〃 0.4	〃 自然排水	〃 G60
暗渠排水	24.1 23.9		24.1 23.9	〃 グライ土壌強粘土構造型	〃 50	〃 5.79	〃 0.4	〃 自然排水	〃 E40
計	69.6 70.3		69.6 70.3						

（2）心土破砕

〃
該当なし

（第16表-3-2）

区分＼項目	面積（ha）事業名			土壌統（区）名	土壌硬度（mm/日）	備考
計						

上段：変更後
下段：変更前

3．客土　　〃
該当なし

（第１６表-4）

項目 / 区分	面積（ha）			土壌統（区）名	減水深（mm/日）		作土の厚さ（cm）		10a当たり客土量（m³）	土壌の性質		備考
	事業名									受益地（%）	採土地（客土材料）	
			計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均				
計												

4．農地保全

（1）防災林　　〃
該当なし

（第16表-5-1）

項目 / 区分	最大風速（m/s）	幅（m）	間隔（m）	備考

（2）排水工　　〃
該当なし

（第16表-5-2）

項目 / 区分	基準雨量（mm/日）	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量（m³/s/ha）	全排水量（m³/s）	

上段：変更後
下段：変更前

（３）侵食（崩壊）防止工

〃
該当なし

（第16表-5-3）

区分＼項目	位　　置	支配面積（ha）	機　　能	備　　考
計				

第１０節　老朽ため池改修計画

１．洪水吐改修計画　〃 該当なし

（１）計画基準雨量　〃 該当なし

（２）計画洪水量　〃 該当なし

２．堤体補強計画　〃 該当なし

３．取水施設改修計画　〃 該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第　5　章　　主 要 工 事 計 画

第１節　用水施設

１．貯水池　　〃
該当なし

（第１７表-1）

名　称				位　置						備　考
堤　体	形　式	流域面積(km²)		堤　高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 質 (千m³)	基盤地盤地質	貯　水　量　(千m³)		
		直　接	間　接					総 貯 水 量	有効貯水量	

洪 水 吐	形　式	排 水 量 (m³/s)	備　考	取水施設	形　式	取水量 (m³/s)	放流施設	形　式	放 流 量 (m³/s)	

上段：変更後
下段：変更前

２．　頭首工　　〃
該当なし

（第１７表-2）

名　　称				位　　置				備　　考
形　式	堤　高 (m)	堤　　長　(m)			取　水　位 (m)	取　水　量 (m^3/s)	付帯施設	
		固定部	可動部	計				

３．　揚水機　　〃
該当なし

（第１７表-3）

項目 名称	位　　置	揚 水 量 (m^3/s)	揚 程(m)		揚　　水　　機			原　　動　　機			備　考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形　式	口 径 (mm)	台 数 (台)	形　式	動　力	台　数 (台)	

上段：変更後
下段：変更前

4．用　水　路

（第１７表-4）

項目 / 水路名	かんがい面積 (ha) 事業名 区画整理	(地区外)	計	通水量 (m³/s)	延長 (km) 開渠	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
〃	69.6	7.8	〃	〃	〃	10.514	10.514	〃	〃	〃	
用水路工	70.3	7.1	77.4	0.001～0.080	－	12.203	12.203	VU300～VU100	－	取水工4箇所	
	69.6	7.8	〃			10.514	10.514				
計	70.3	7.1	77.4			12.203	12.203				

5．その他かんがい施設

〃
該当なし

（第１７表-5）

項目 / 水路名	構造	規模	数量	備考

上段：変更後
下段：変更前

第２節　排水施設

１．　排 水 水 門　　〃
該当なし

（第１８表-1）

項目 名称	位　置	形　　式	構　　造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m^3/s)	備　　考
計							

２．排　水　機　　〃
該当なし

（第１８表-2）

項目 名称	位　置	排　水　量 (m^3/s)	揚　　程		排　　水　　機			原　　動　　機			備　考
			実 揚 程 (m)	全 揚 程 (m)	形　式	口　径 (m)	台　数 (台)	形　式	動　力	台　数 (台)	
計											

上段：変更後
下段：変更前

３．排　水　路

（第１８表-3）

項目 / 水路名	受益面積（ha） 事業名 区画整理		計	排水量（m^3/s）	延長（km） 開水路	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
〃	83.5		83.5	〃	12.392	0.718	13.110	HF300×300～HF2000×1500	〃	〃	
排水路工	82.7		82.7	0.004～1.003	11.615	0.711	12.326	HF300×300～900×900	1/150～	水槽工 横断暗渠工	
	83.5		83.5		12.392	0.718	13.110				
計	82.7		82.7		11.615	0.711	12.326				

４．その他排水施設

〃
該当なし

第３節　道路及び索道

上段：変更後
下段：変更前

１．道　　路

(1)　道路の総括表

（第１９表-1）

項目 区分	路線名	幅（有効）×延長 (m)　　(km)	構造	付帯構造物 名称	構造	数量 (箇所)	最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
〃 支線道路(A)	〃 －	5.0(4.0)×5.221 5.0(4.0)×7.978	〃 砂利道	〃 横断暗渠	〃 HP500等	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
〃 支線道路(B)	〃 －	4.0(3.0)×1.119 4.0(3.0)×0.232	〃 砂利道	〃 横断暗渠	〃 HP500等	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
〃 支線道路(C)	〃 －	3.0(2.0)×4.685 3.0(2.0)×0.753	〃 砂利道	〃 横断暗渠	〃 HP500等	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	腹付拡幅含む
計		L=11.025km L=8.963km								

(2)　道路主要構造物　　〃
該当なし

２．索　　道　　〃
該当なし

第４節　農用地造成

上段：変更後
下段：変更前

１．　農 用 地 造 成

〃
該当なし

（１）　抜　　根

〃
該当なし

（第２０表-1）

項目 区分	樹　　種	樹　　径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面　　積 (ha)	工　　法	備　　考
計						

（２）　除　　礫

〃
該当なし

（第２０表-2）

項目 区分	対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha当たり標準除去礫量 (m^3/ha)	面　　積 (ha)	工　　法	備　　考
計					

上段：変更後
下段：変更前

（３） 開墾作業 〃
該当なし

（第２０表-3）

区分＼項目		面　積 (ha)	工　法	備　考
地　目	造成方法			
計				

（４） 地目交換 〃
該当なし （第２０表-4）

（５） 末端用水路等 〃
該当なし （第２０表-5）

（６） 末端排水路等 〃
該当なし （第２０表-6）

２． 土壌改良 〃
該当なし

（第２０表-7）

区分＼項目	面　積 (ha)	面　積 (ha)	面　積 (ha)	面　積 (ha)	備　考
計					

上段：変更後
下段：変更前

第５節　洪水調節施設

１．　貯　水　池　　〃
該当なし

２．　頭首工及び導水路　　〃
該当なし

（１）　頭首工　　〃
該当なし

（第２１表-2）

名　称			位　置					備　考
			堤　長　(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	
形　式	集水面積 (km^2)	堤　高 (m)	固定部	可動部	計			

（２）　導水路　　〃
該当なし

（第２１表-3）

項目 / 水路名	通水量 (m^3/s)	延　長　(m)			構　造	勾　配	備　考
		総延長	トンネル	その他			

第６節　干拓施設

１．堤防　　〃
該当なし

（第２２表-1）

項目 / 名　称	面　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法	備　考

２．潮止め　　〃
該当なし

（第２２表-2）

項目 / 名　称	工　法	幅　見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備　考

３．付属施設　　〃
該当なし

４．埋立　　〃
該当なし

（第２２表-3）

項目 / 名　称	面　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法 (m)	備　考

第７節　農用地整備施設

上段：変更後
下段：変更前

１．区画整理

（１）区画整理　　（第２３表-1）

工区名	面積（ha）	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量（m^3）	面積（ha）	土量（m^3）	
〃	17.4	〃	－	17.4	26,100	〃
真城北	19.3	100 × 100	－	19.3	28,950	水田
	33.8	〃	－	33.8	50,700	〃
	27.3	100 × 50	－	27.3	40,950	水田
	13.7	〃	－	13.7	20,550	〃
	17.3	不定形	－	17.3	25,950	水田
	5.1	〃	－	5.1	8,250	水田4.7ha、畑0.4ha
	6.5	不定形	－	6.5	9,900	水田6.4ha、畑0.1ha
計	70.0			70.0	105,600	
	70.4			70.4	105,750	

（２）末端用水路等　　（第２３表-2）

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
計				

（３）末端排水路等　　（第２３表-3）

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
計				

上段：変更後
下段：変更前

2．暗渠排水

（1）暗渠排水

（第２３表-4-1）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名 区画整理		計	集水渠 勾配	管種	管径（mm）	延長（m/ha）	吸水渠 勾配	管種	管径（mm）	深さ（m）	間隔（m）	延長（m/ha）	集水渠出口以下の排水施設 名称	構造	数量（m/ha）	備考
〃 自動埋設型暗渠工	69.6 70.3		69.6 70.3	〃 ﾚﾍﾞﾙ	〃 ポリ管	〃 φ50～65	〃 25	〃 水頭差	〃 ポリ管	〃 φ50～60	〃 0.6	〃 10	〃 969	〃 小排水路	〃 HF	〃 152	
計	69.6 70.3		69.6 70.3														

（2）心土破砕　〃 該当なし

（第２３表-4-2）

項目 / 区分	対象土層の厚さ（cm）	ha当たり標準除礫量（m^3/ha）	面積（ha）	工法	備考
計					

3．客土　〃 該当なし

（第２３表-5）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		計	客入土量（m^3）	土取場土量（m^3）	運搬距離（km）	運搬方法	備考
計								

4．除礫　〃 該当なし

（第２３表-6）

項目 / 区分	対象土層の厚さ（cm）	ha当たり標準除礫量（m^3/ha）	面積（ha）	工法	備考
計					

上段：変更後
下段：変更前

5．農地保全　　〃
該当なし

（1）　防災林　　〃
該当なし

（第２３表-7）

項目 区分	幅 （m）	延　長 （m）	面　積 （ha）	樹　種	植 栽 本 数 （本）	備　　考
計						

（2）　排水路　　〃
該当なし

（第２３表-8）

項目 区分	延　長 （m）	流　量 （m）	構　　造	備　　考
計				

（3）　侵食防止工　　〃
該当なし

（第２３表-9）

項目 名称	構　　造	数　　量	備　　考
計			

上段：変更後
下段：変更前

第８節　老朽ため池改修施設

１．貯水池

〃
該当なし

（第２４表）

名　称					位　置			
堤　体	形　式	流　域 (km²)	堤　高 (m)	堤　長 (m)	堤体積 (m³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m³)	備　　考
洪水吐	形　式	洪水量 (m³/s)	規　模 (m)	備　考	取水施設	形　式	取水量 (m³/s)	備　　考

２．堤体補強施設

〃
該当なし

（１）のり面保護施設

〃
該当なし

（２）漏水防止工

〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第６章　　付　帯　工　事　計　画

〃
該当なし

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

〃

着　手	平成	28	年度
	令和	6	
完　了	平成	33	年度

第８章　　環境との調和への配慮

〃
本地域は、水環境が多様で豊かな生態系が存在している。自然の川はなく、農業用用排水路が縦横断し、県内有数の穀倉地帯を潤している。また、地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種及び希少種の食餌動植物等生育・生息に不可欠な種、良好な環境の指標となる種の生育・生息が確認されている。

地域ではそれらの生態系に配慮し、水路の維持管理に取り組むとともに、専門家の指導を得ながら、施工前に希少動植物の移植を行ったり、施工時の騒音振動を抑えた対策をとるなど環境配慮にも取り組む。

第９章　換　地　計　画　の　概　要

上段：変更後
下段：変更前

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

〃

地区内は、小区画水田(10a)で農道幅員1.5～2.0mと狭小であり、大型農業用機械の有効活用や農産物の円滑な搬出に支障をきたしているほか、地区内の用排水路は老朽化し維持管理に労力を要している。また、地区内の農地が分散錯圃しているため、集落営農や担い手の営農の効率化及び規模の拡大に支障をきたしている。

このような状況を解消し、効率的かつ省力的な営農を展開するため、ほ場整備を行うとともに、換地による集団化を図り、担い手への作業受委託の促進、拡充を図り、担い手中心の生産性の高い農業を実現できるように換地計画を樹立する必要がある。

第２節　換地区の設定

１．換地区の名称、所在、面積

（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積（ha）
〃 真城北	水沢真城　　姉体町地内 岩手県奥州市水沢区真城、姉体町地内	83.5 82.7
計		83.5 82.7

２．換地区を設定する理由

〃

計画地区の地形条件はおおむね同様であるので、換地工区を１区設定する。

第３節　換地計画樹立の基本方針

上段：変更後
下段：変更前

１．従前の土地の地積の基準

（第２５表-2）

換地区名	地　積　の　基　準
〃 真　　城　　北	〃 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から１年以内に土地家屋調査士の測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出地積とする。

上段：変更後
下段：変更前

２．用途別予定地積

（単位：ha）　（第２５表-3）

換地区名	用途（取得予定者）前／後	非農用地区域外に換地する土地													非農用地区域に換地する土地									機能交換に係る土地					一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地 １条の（ ）書き（令第			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	小計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計							
真城北	従前の土地	73.6 73.2	〃 1.0	〃 0.0	0.3 0.2	4.5 4.1	〃 －	4.5 4.1	79.4 78.5	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	79.4 78.5	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －							〃 －	〃 －	4.1 4.2	4.1 4.2	〃 －	83.5 82.7
	換地	69.6 70.3	0.4 0.1	〃 －	〃 －	― 6.1	〃 －	6.1	70.0 76.5	7.3 －	〃 －	7.3 －	〃 －	77.3 76.5	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	6.2 6.2	6.2 6.2	〃 －	83.5 82.7
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地	73.6 73.2	〃 1.0	〃 0.0	0.3 0.2	4.5 4.1	〃 －	4.5 4.1	79.4 78.5	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	79.4 78.5	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －							〃 －	〃 －	4.1 4.2	4.1 4.2	〃 －	83.5 82.7
	換地	69.6 70.3	0.4 0.1	〃 －	〃 －	― 6.1	〃 －	6.1	70.0 76.5	7.3 －	〃 －	7.3 －	〃 －	77.3 76.5	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	6.2 6.2	6.2 6.2	〃 －	83.5 82.7

※その他　鉄道用地25m2含む

※その他　鉄道用地134m2含む

上段：変更後
下段：変更前

３．農用地集団化の方針

（第２５表-4）

区　分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個　人　別　換　地　の　方　法		
		位置の選択方法	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
〃 真城北	〃 集落別集団化	〃 予め特殊地の選定を行なった後、各戸の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき担い手の経営農用地を中心として集積が図れるように配慮する。	〃 1～2団地	〃 固定畦畔

４．非農用地の換地方法

〃
該当なし

（第２５表-5）

区　分 地区名	用　途	非農用地区域の位置の概略	面　積(m^2)	換地の手法	換地取得予定者	そ　の　他

上段：変更後
下段：変更前

第４節　土地の評価及び清算の方法

１．評価の方法

〃

項目別配点方式

〃

従前の土地と換地をそれぞれ個別に、かつ、１筆毎に、各評価項目について採点し、項目別に得られた採点結果を積み上げてその土地の点数とし、点数に対応する等位をつける。

２．清算の方法

〃

比例地積清算方式

〃

事業による利益（増加額）を従前の土地の地積に比例して配分する方法

第５節　換地計画樹立の年度計画

（第２５表-6）

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
〃 真城北	平成30～令和２年度 平成30～32年度	令和７年度 平成33年度	令和７年度 平成33年度	令和３年度 確定測量　平成32年度

第６節　換地処分の時期に関する特則

〃

換地区全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法題54条第2項本文の規定に関わらず、換地処分を行うものとする。

上段：変更後
下段：変更前

第１０章　　事業費の総額及び内訳

（第２６表）

区分＼事業名		経営体育成基盤整備事業（百万円）	備　　考
工　事　費		1,684 1,430	令和４年度単価 平成27年度単価
附　帯　工　事			
計		1,684 1,430	
関連事業（参考）			

第11章　効　　用

（第２７表）

事業名	区分＼項目	年増加見込効果額（千円）	年増加農業所得額（千円）	備考
区画整理	作物生産効果	29,783 30,728	△ 1,076 △ 1,723	
	営農経費節減効果	131,866 110,369	134,576 112,792	
	維持管理費節減効果	△ 1,777 △ 1,162	2,108 2,290	
	耕作放棄防止効果	〃 －	〃 －	
	国産農産物安定供給効果	2,701 2,515	〃 －	
	計	162,573 142,450	135,608 113,359	令和４年度単価 平成27年度単価　1.59 総費用総便益比　1.52

第１２章　関 連 す る 事 業

上段：変更後
下段：変更前

（第２８表）

区　分	事　業　名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
〃 異種	〃 国営胆沢平野 農業水利事業	〃 国	〃 9,830	〃 用水路　12路線　30km 〃 排水路　7路線　19km
	〃 県営農業用水再編対策 事業胆沢平野地区	〃 岩手県	〃 8,835	〃 用水路　36路線　112km 〃 排水路　33路線　91km

第１３章　　現 況・計 画 図 面

上段：変更後
下段：変更前

１．位　　置　　図	〃 別途添付
２．現　況　計　画　平　面　図	〃 別途添付
３．土　地　利　用　計　画　図	〃 別途添付
４．主　要　構　造　図	〃 別途添付